

確定申告準備に関する調査結果

【実施期間】
2024年1月

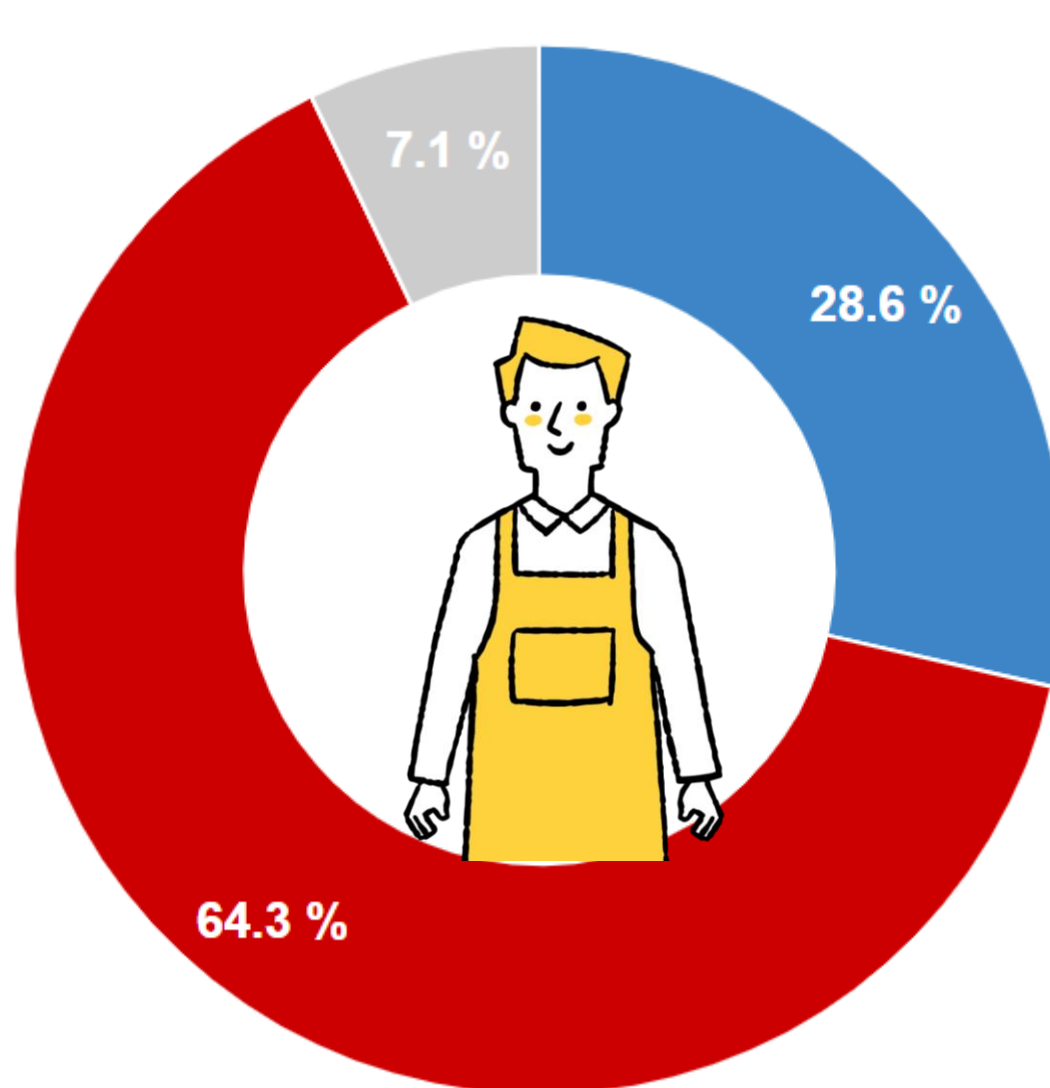
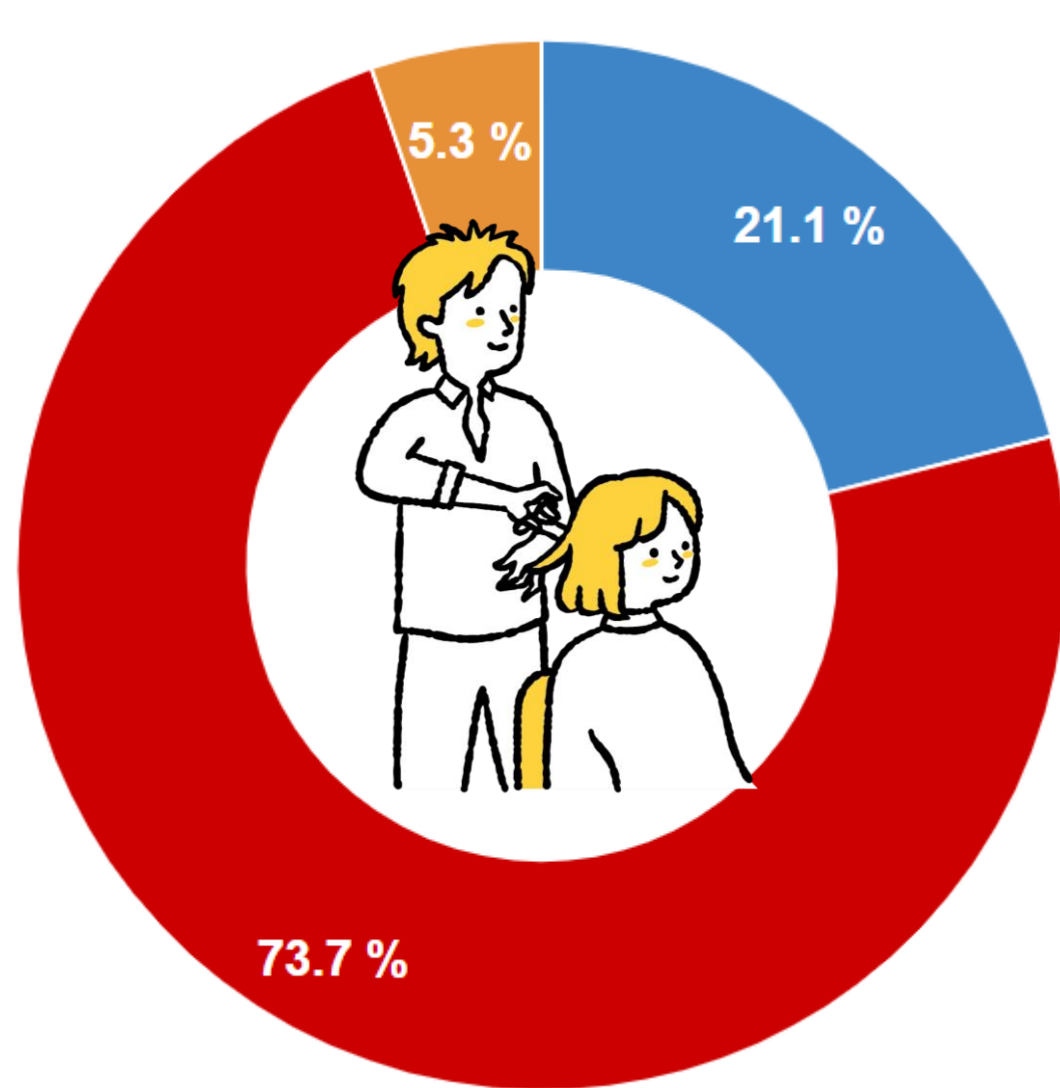
【業種別】確定申告の依頼状況

ー令和5年分の確定申告は誰がする予定ですか？

▼ 美容業

▼ 小売業

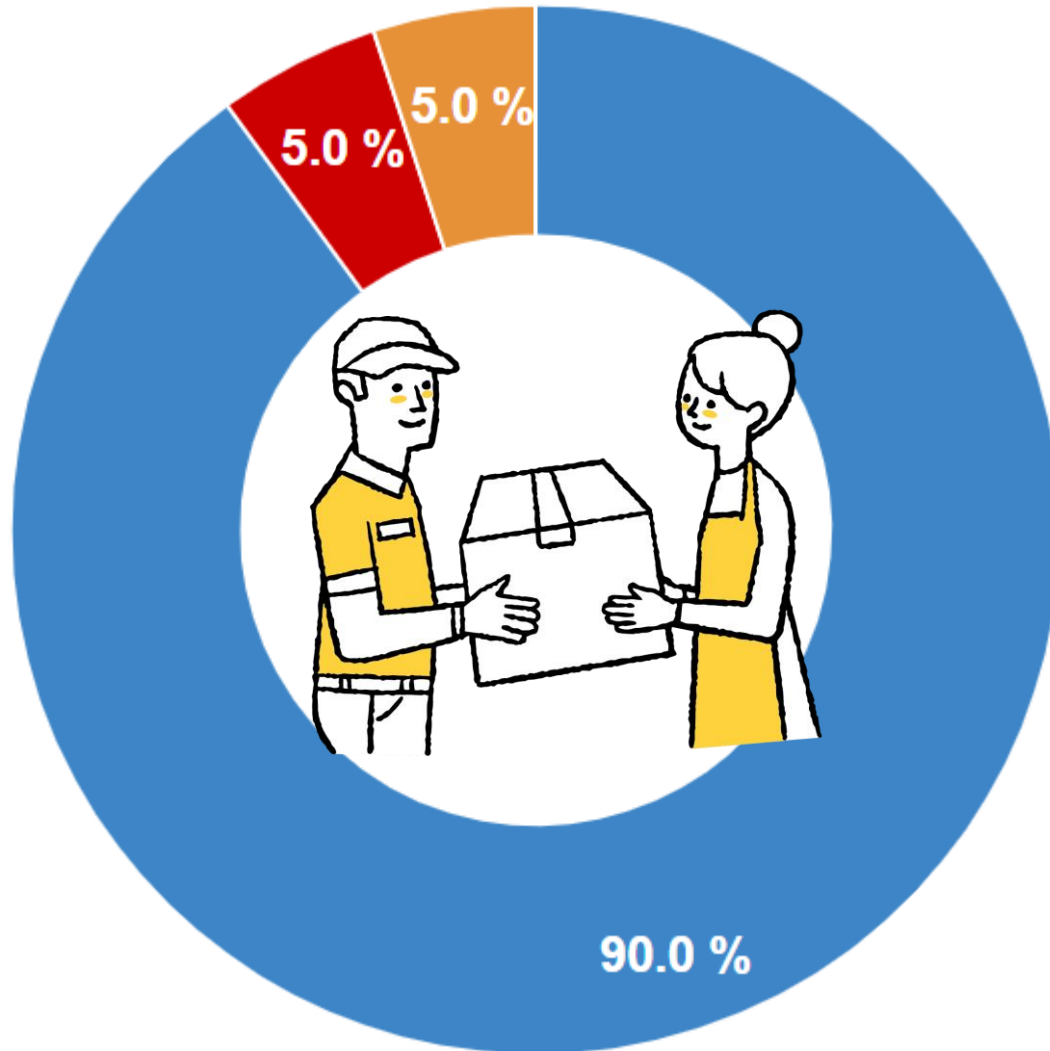
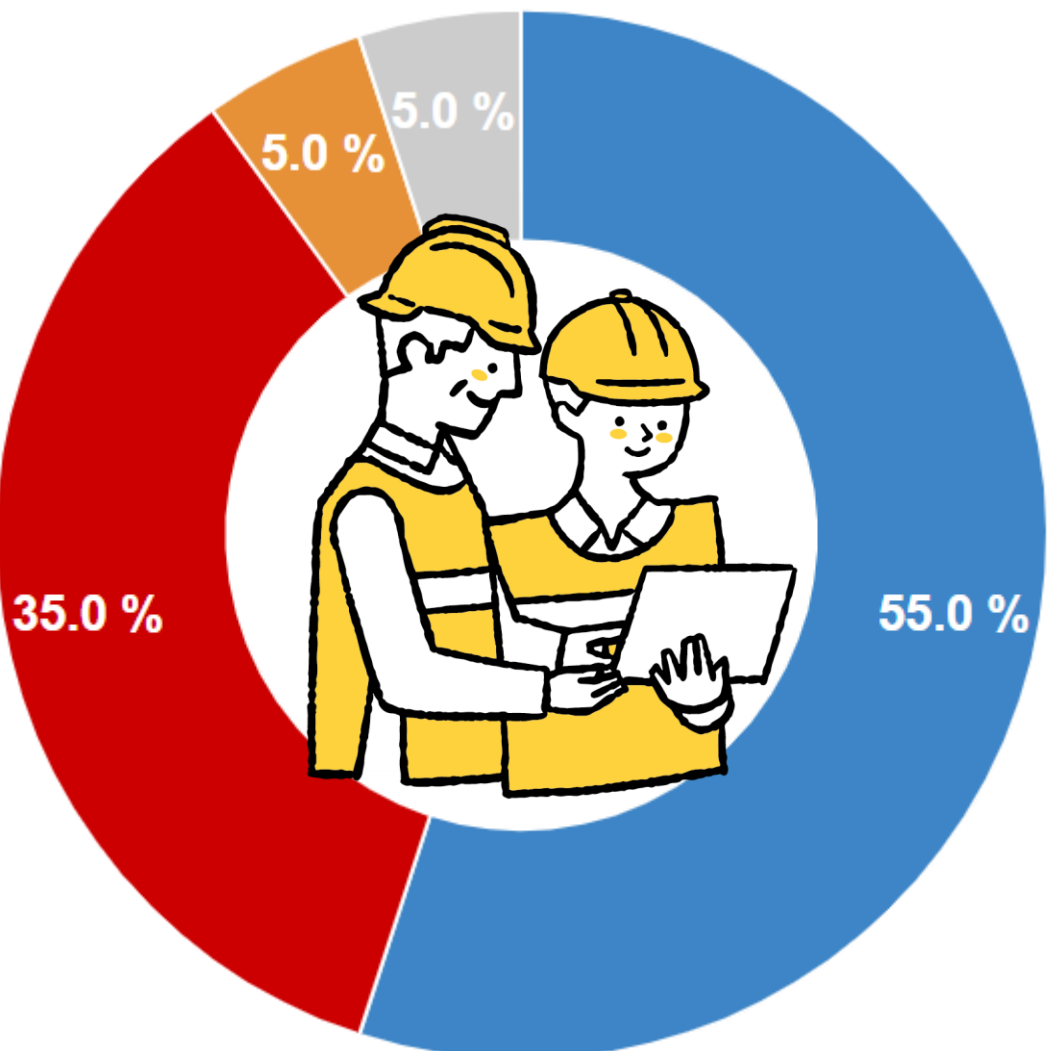
■ 自分でする ■ 顧問税理士に依頼する ■ 顧問ではない税理士に依頼する(今回の確定申告時のみの依頼) ■ その他



▼ 建設業

▼ 運送業

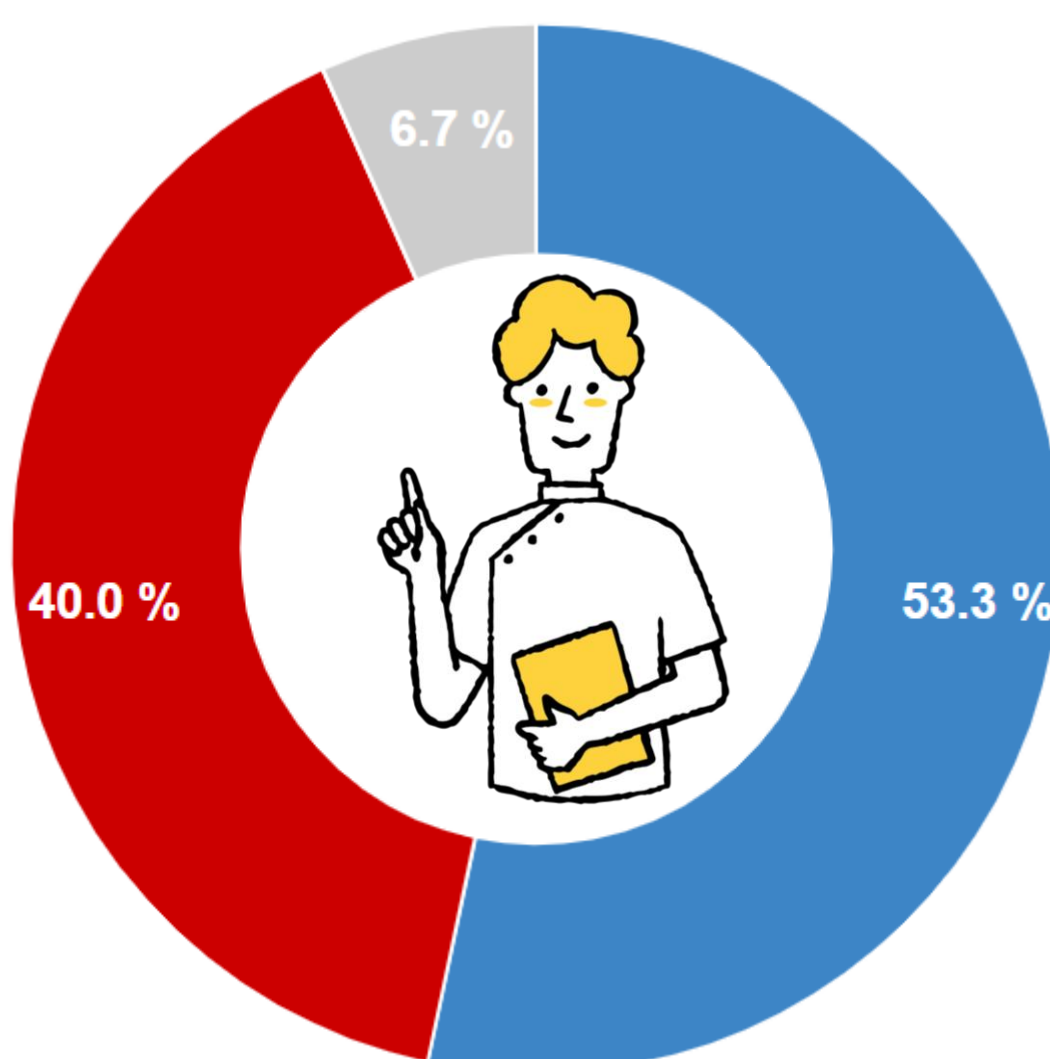
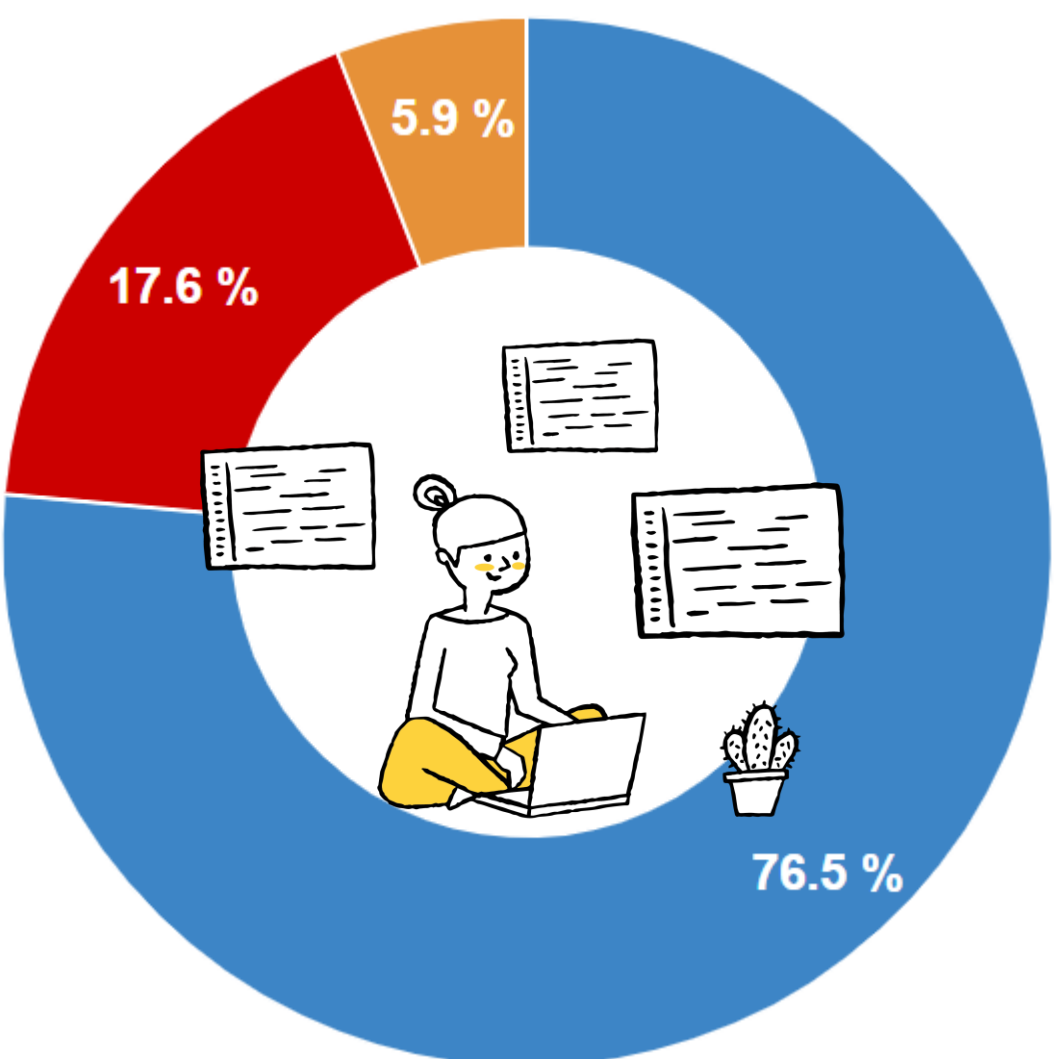
■ 自分でする ■ 顧問税理士に依頼する ■ 顧問ではない税理士に依頼する(今回の確定申告時のみの依頼) ■ その他



▼ WEBサービス業

▼ 医療・福祉業

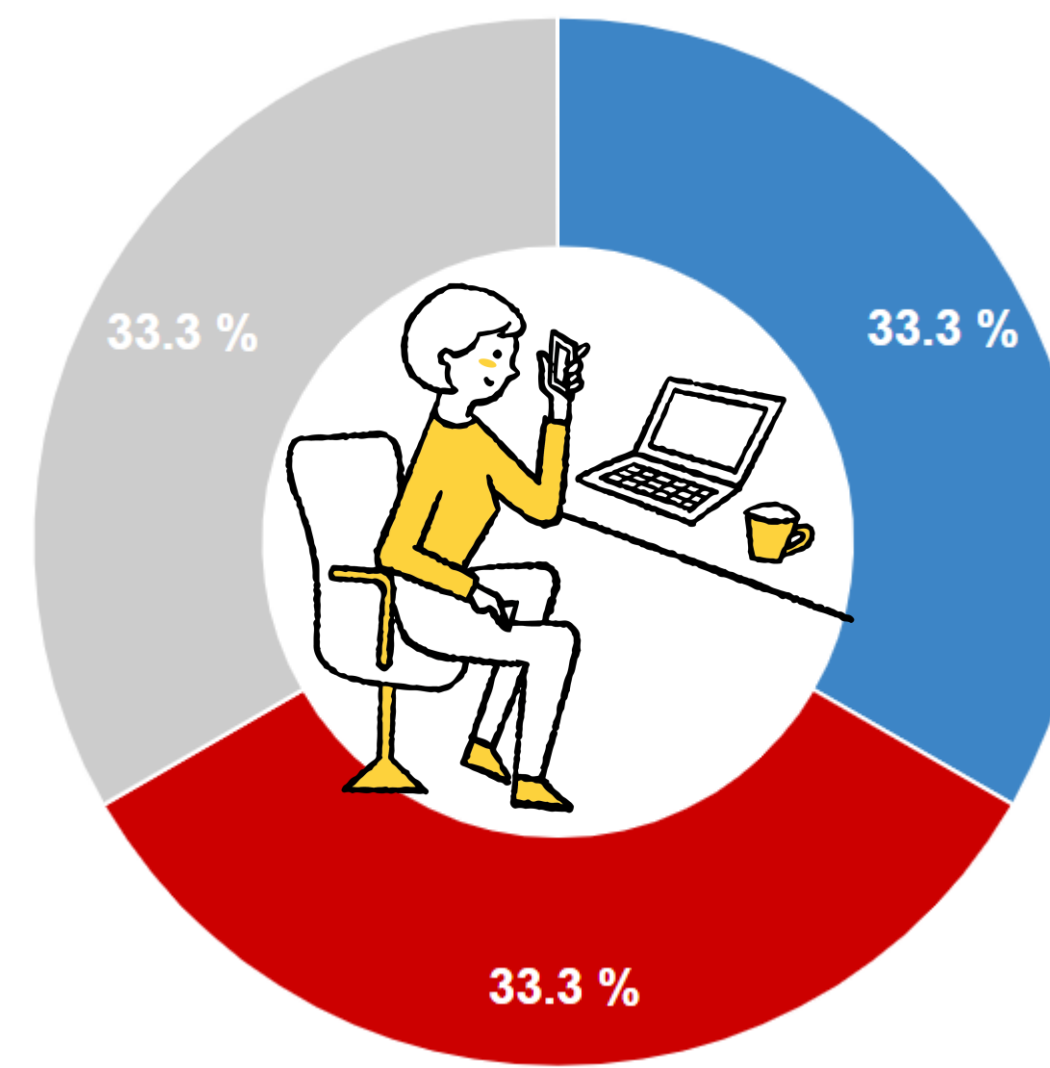
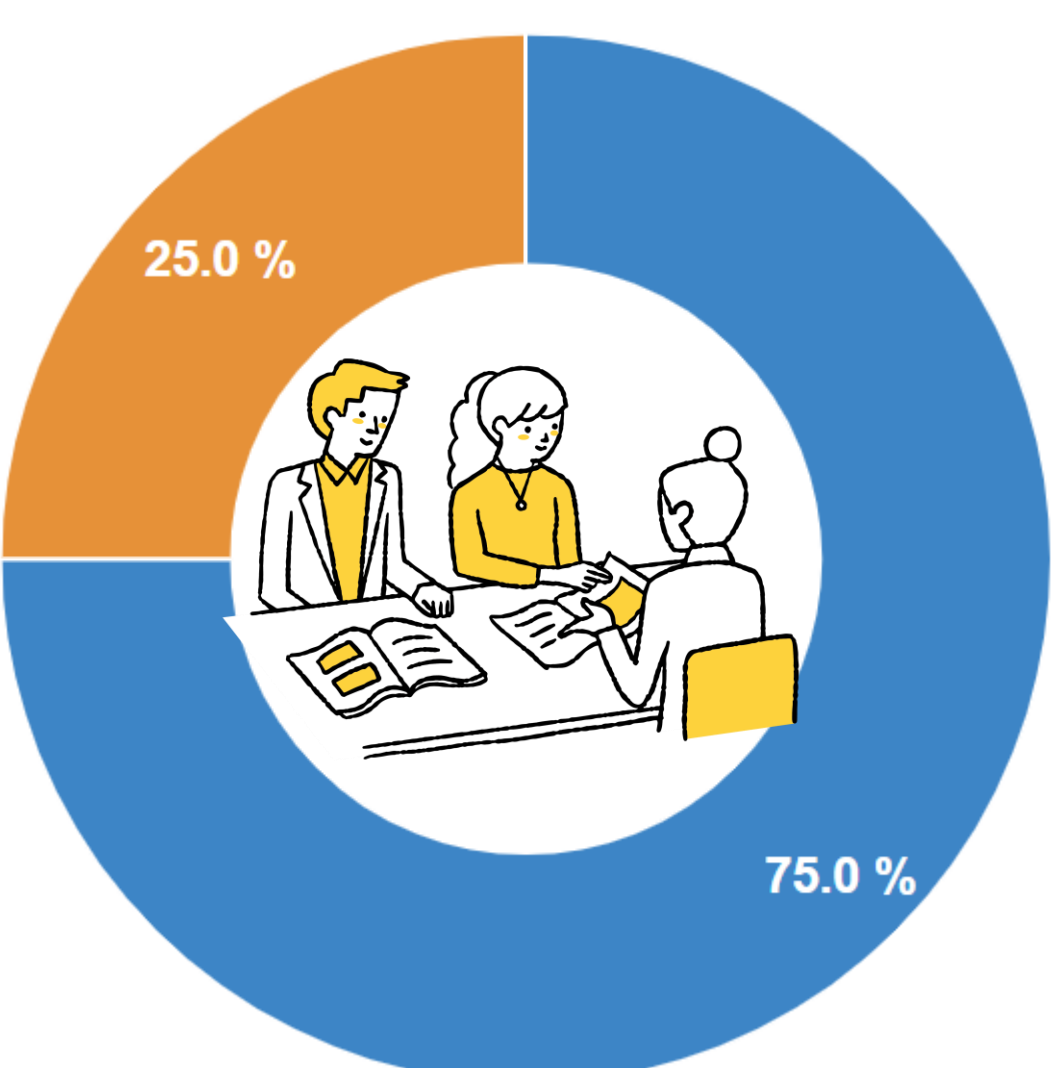
■ 自分でする ■ 顧問税理士に依頼する ■ 顧問ではない税理士に依頼する(今回の確定申告時のみの依頼) ■ その他



▼ 専門家（士業・FP・コンサル）

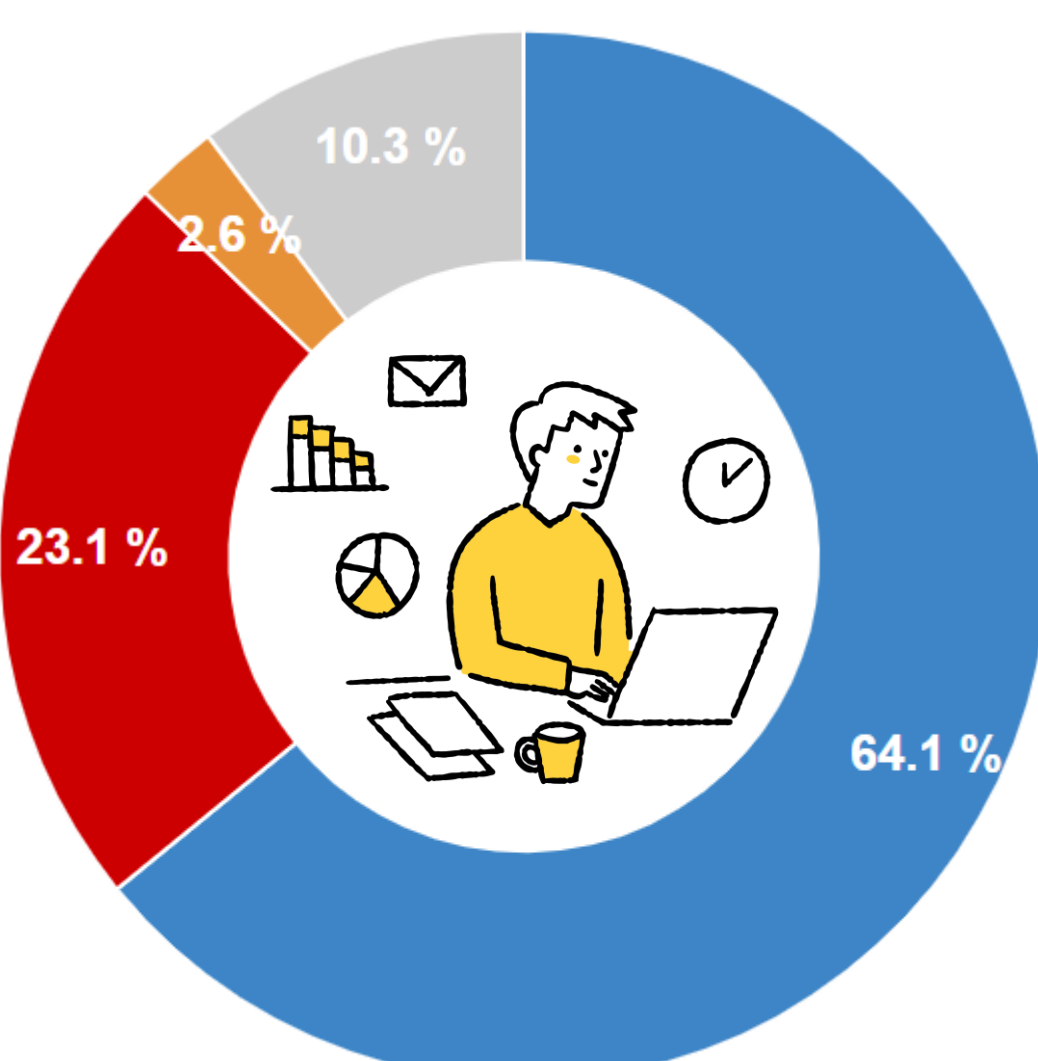
▼ 個人投資家

■ 自分でする ■ 顧問税理士に依頼する ■ 顧問ではない税理士に依頼する(今回の確定申告時のみの依頼) ■ その他



▼ その他

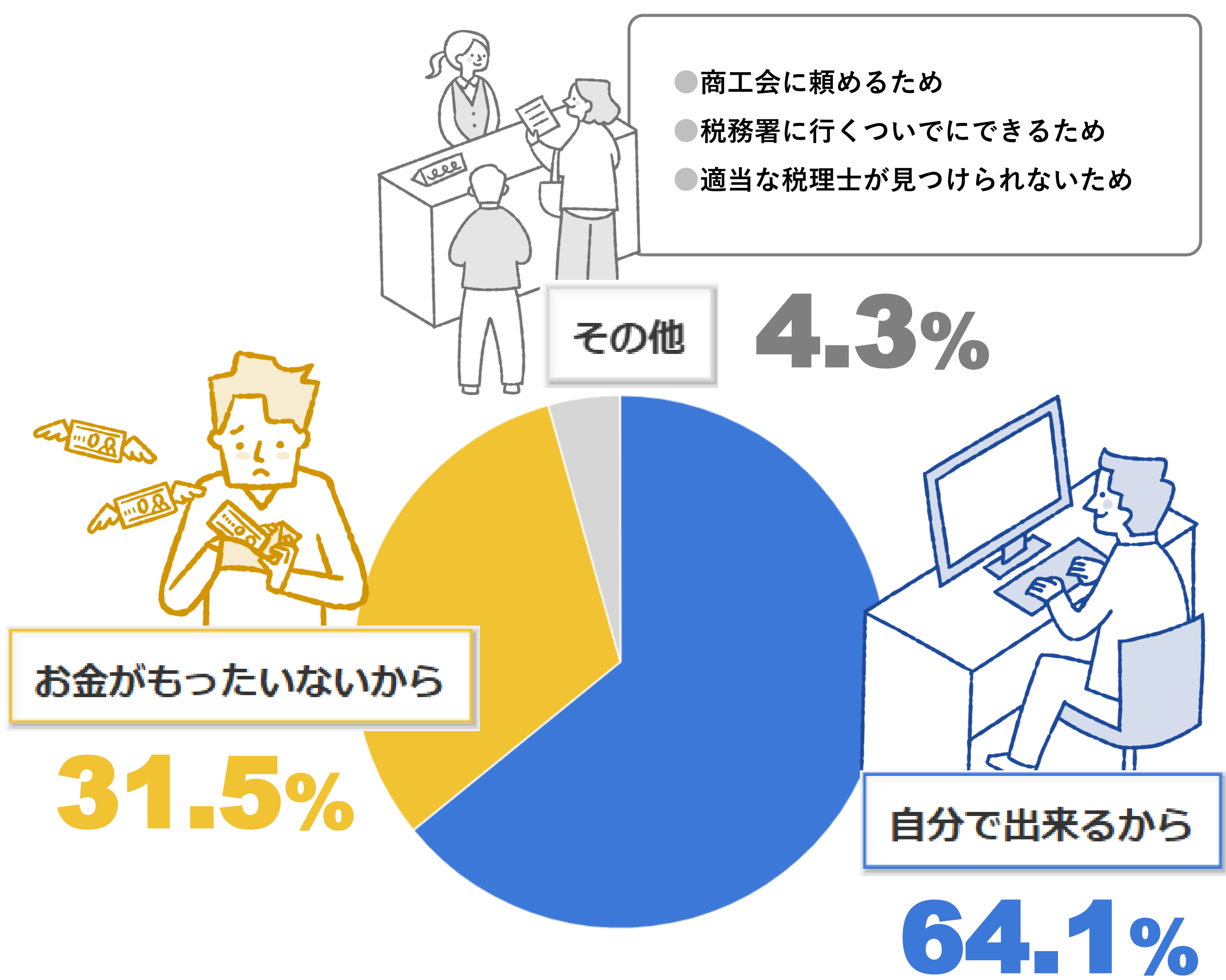
■ 自分でする ■ 顧問税理士に依頼する ■ 顧問ではない税理士に依頼する(今回の確定申告時のみの依頼) ■ その他



▼ 確定申告を『自分でする』

【業種別】確定申告を依頼しない理由

－税理士に頼まないのはなぜですか？

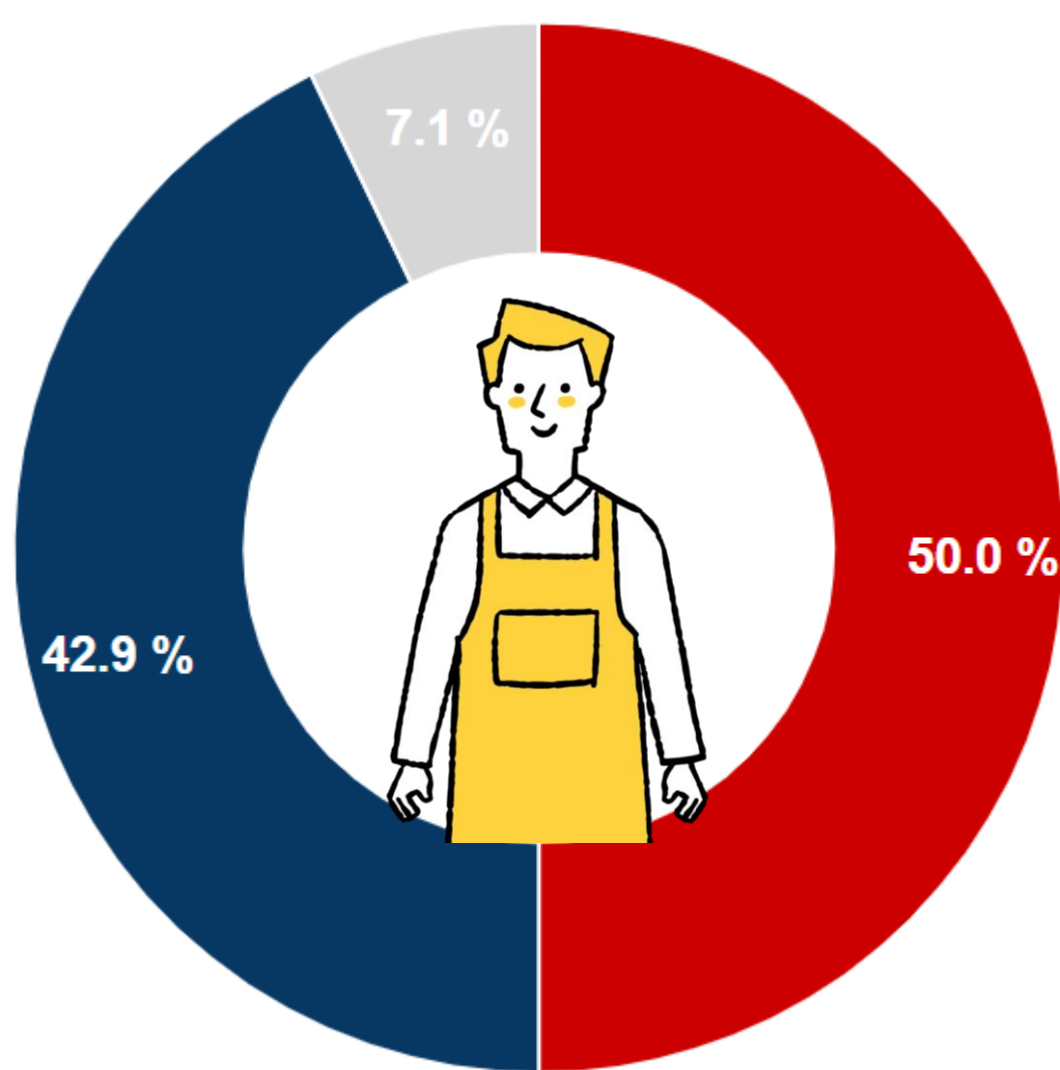
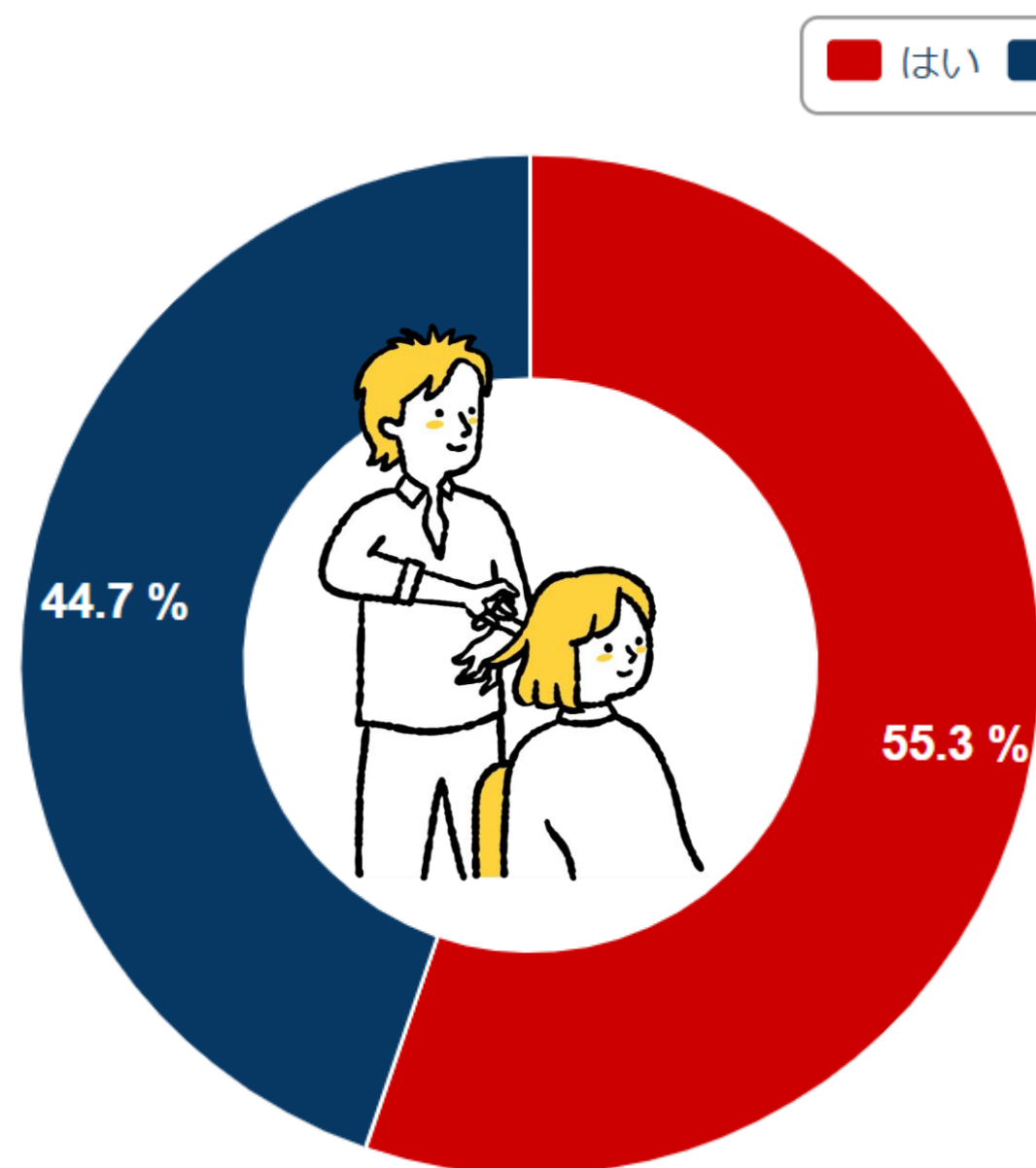


【業種別】確定申告の完成度（1月末時点）

－2024年1月末時点で、確定申告の準備は終わっていますか？

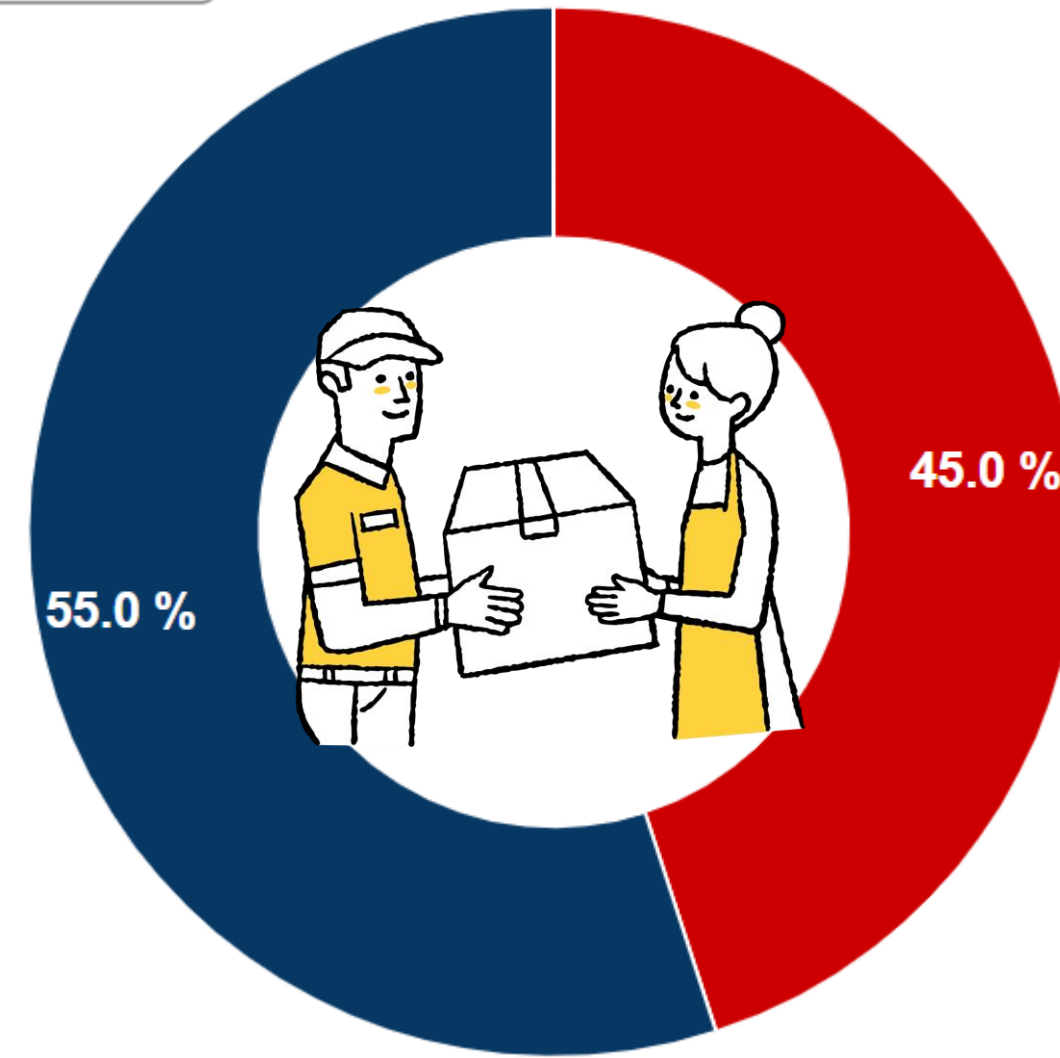
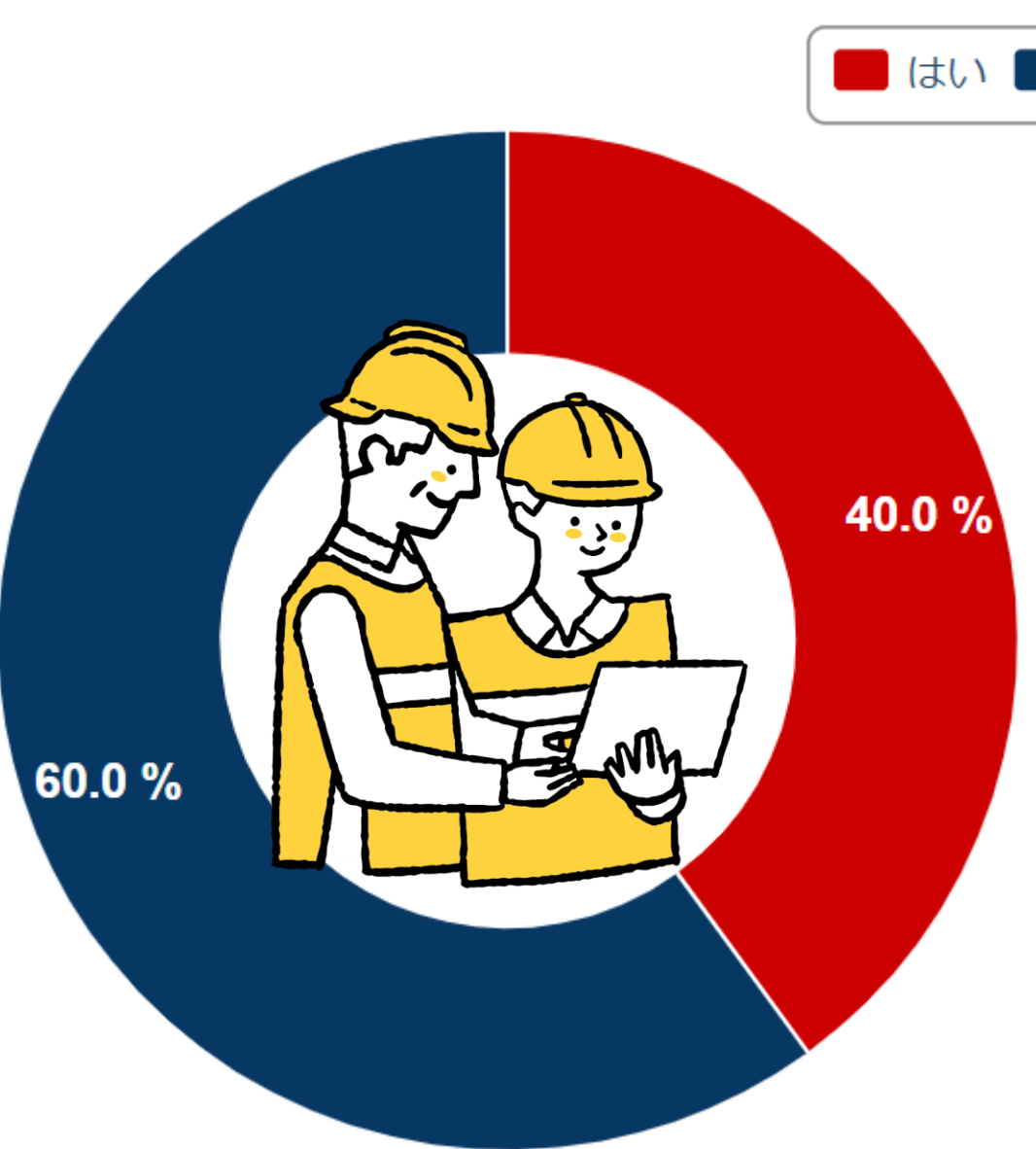
▼ 美容業

▼ 小売業



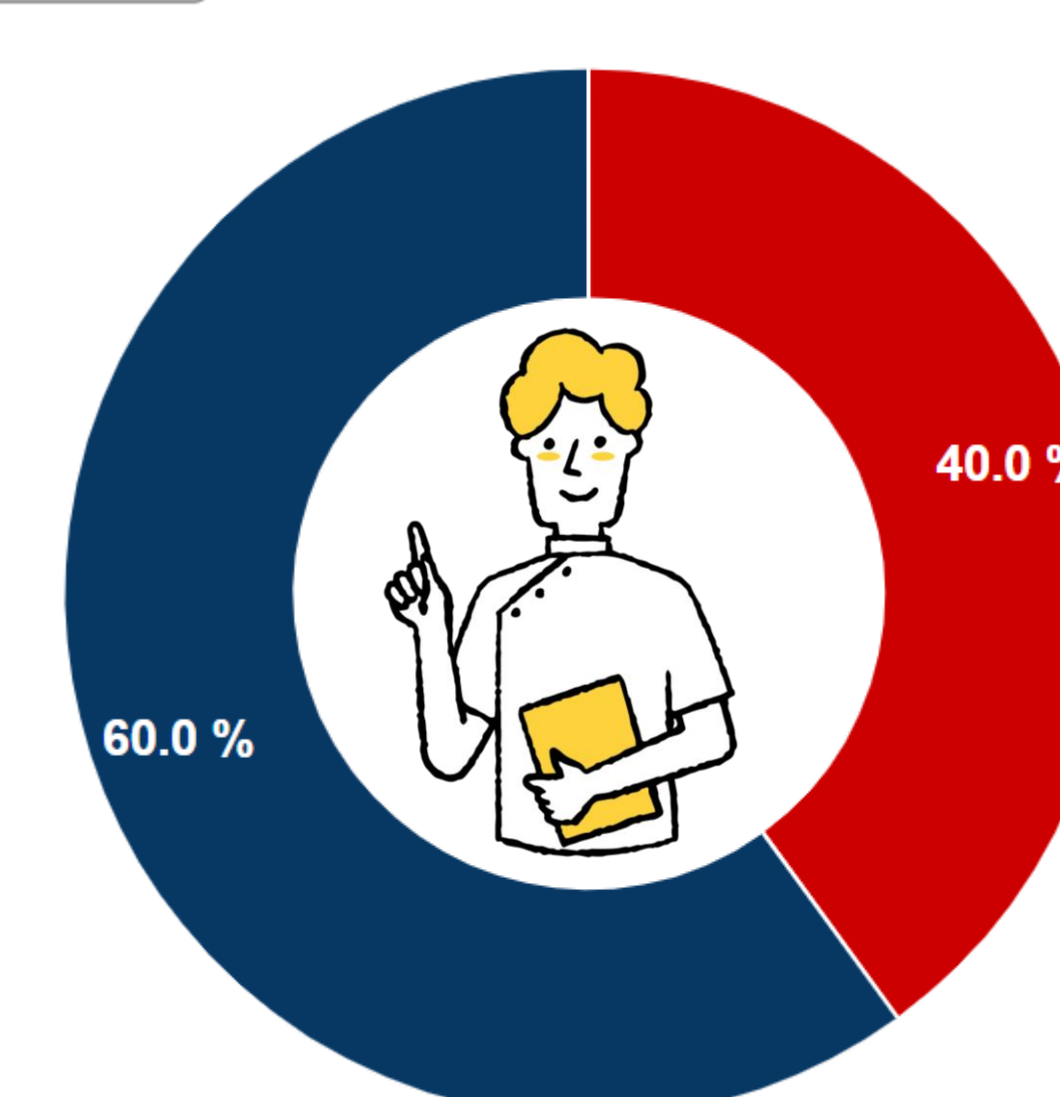
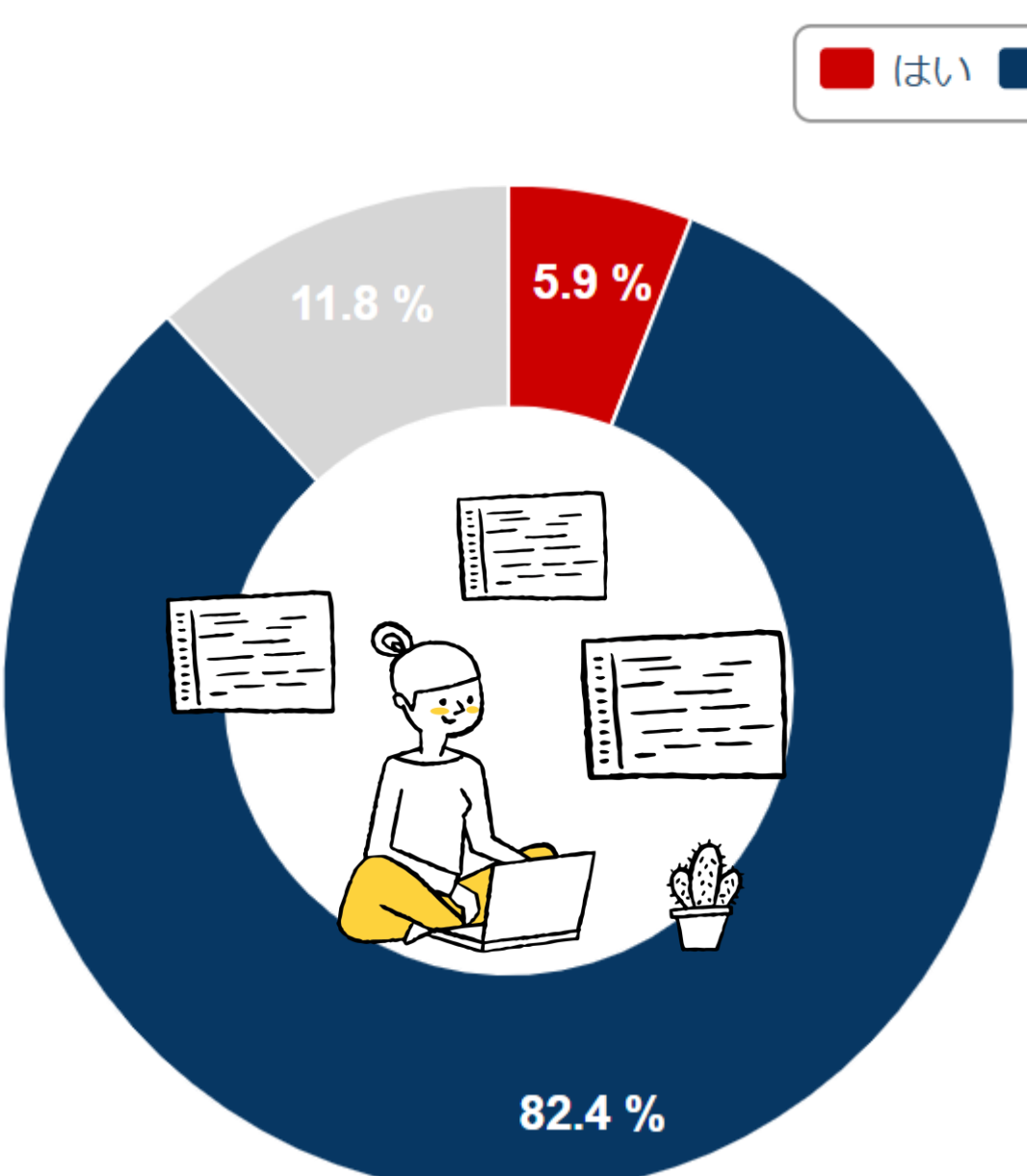
▼ 建設業

▼ 運送業



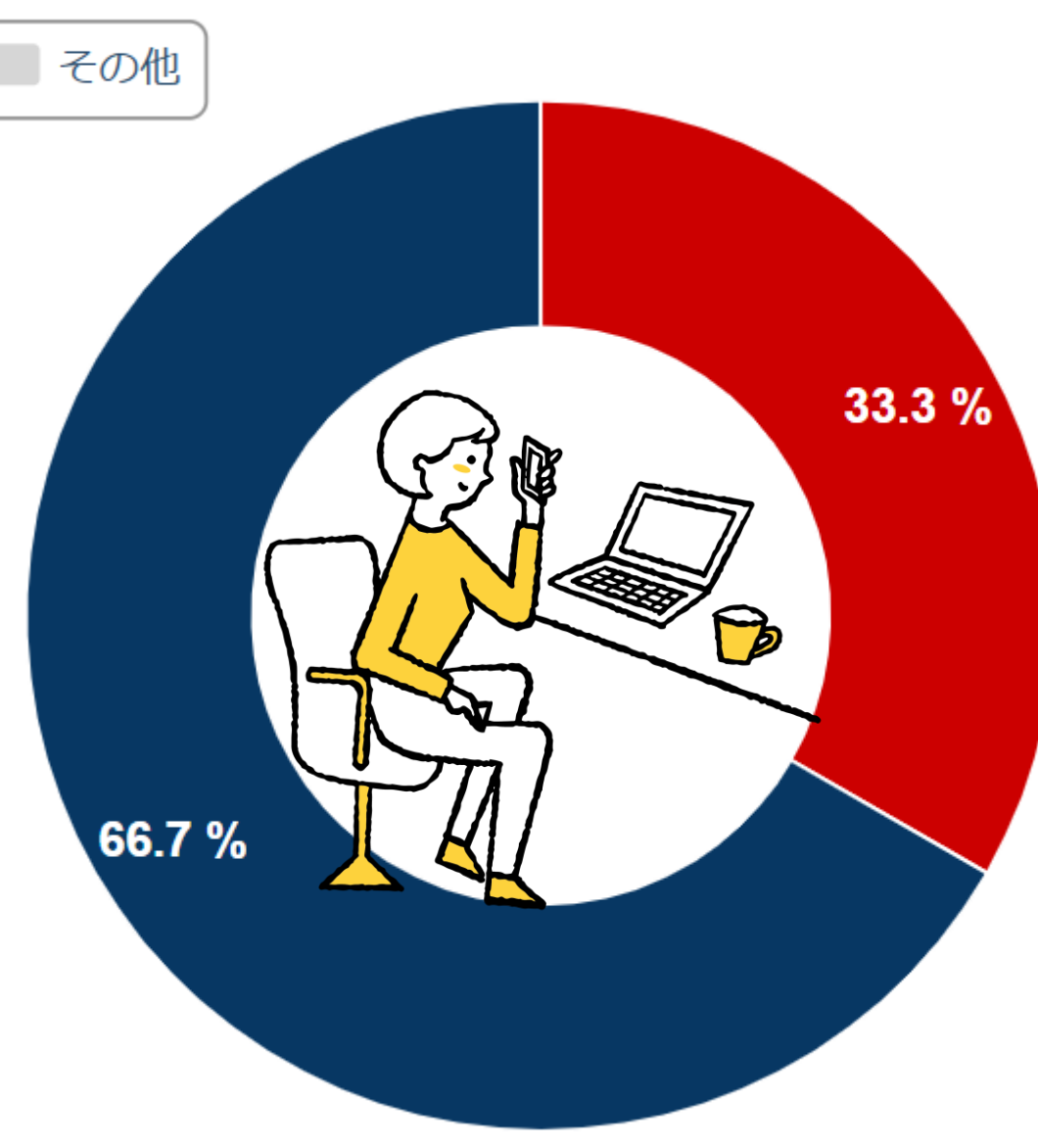
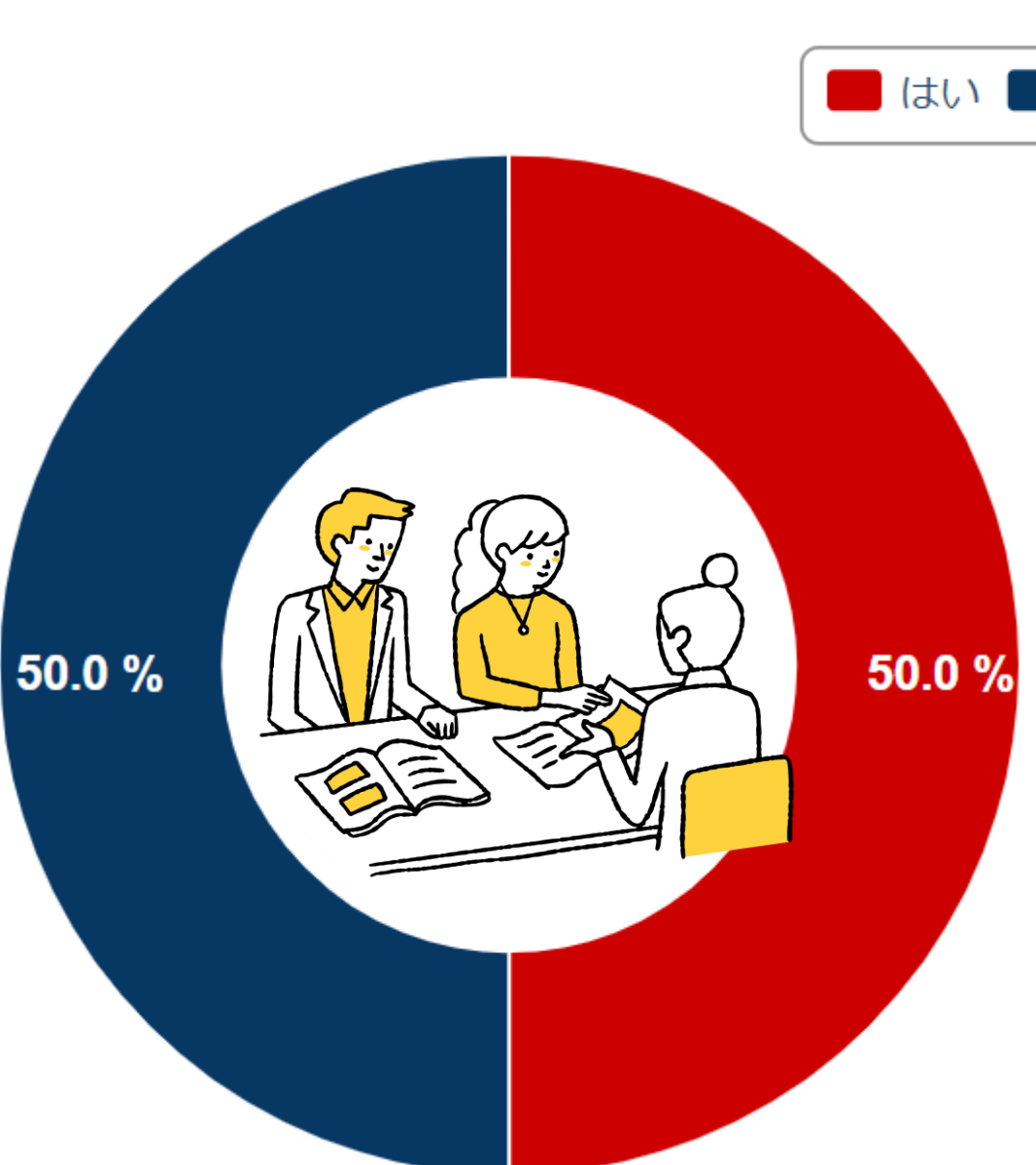
▼ WEBサービス業

▼ 医療・福祉業

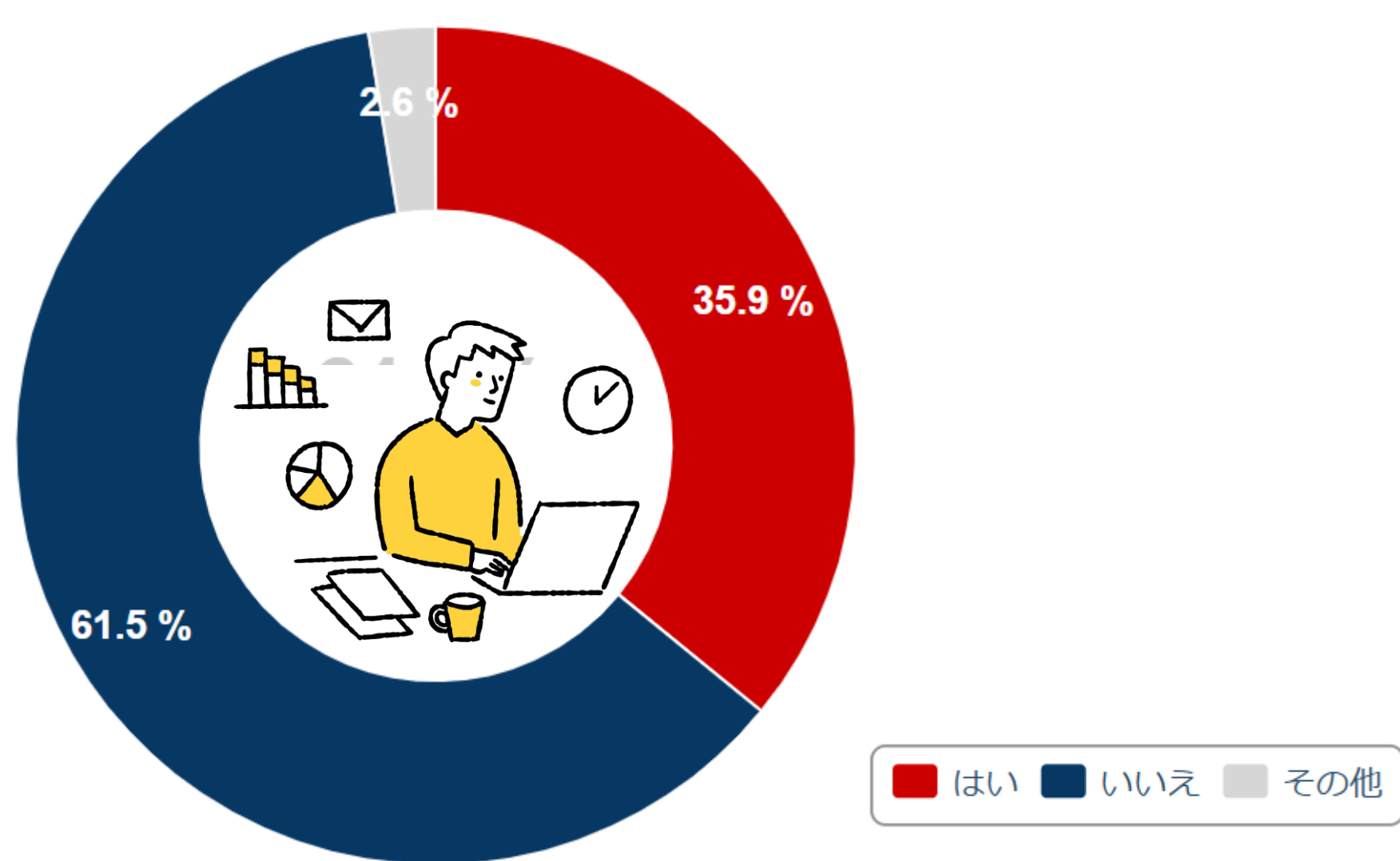


▼ 専門家（士業・FP・コンサル）

▼ 個人投資家



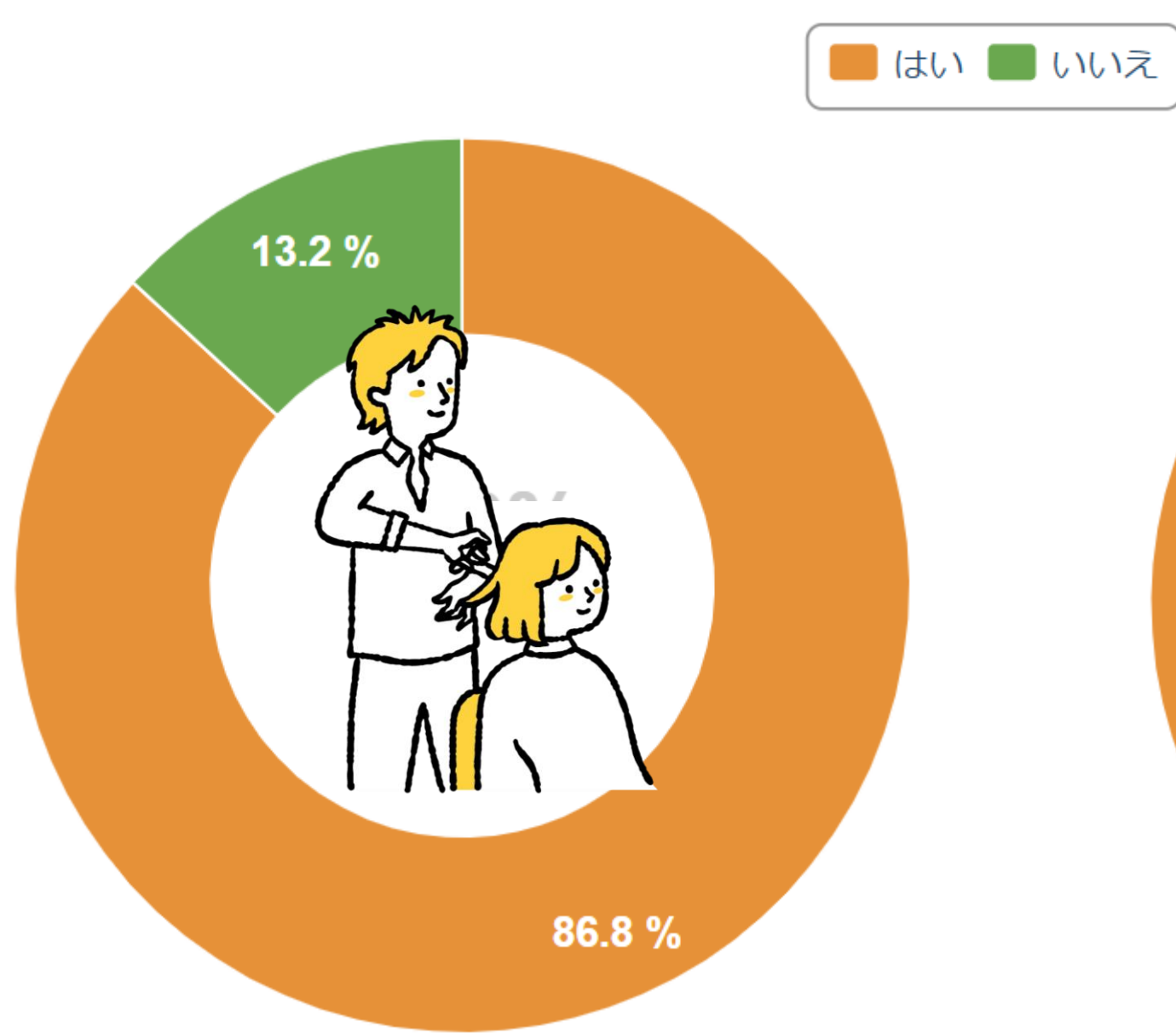
▼ その他



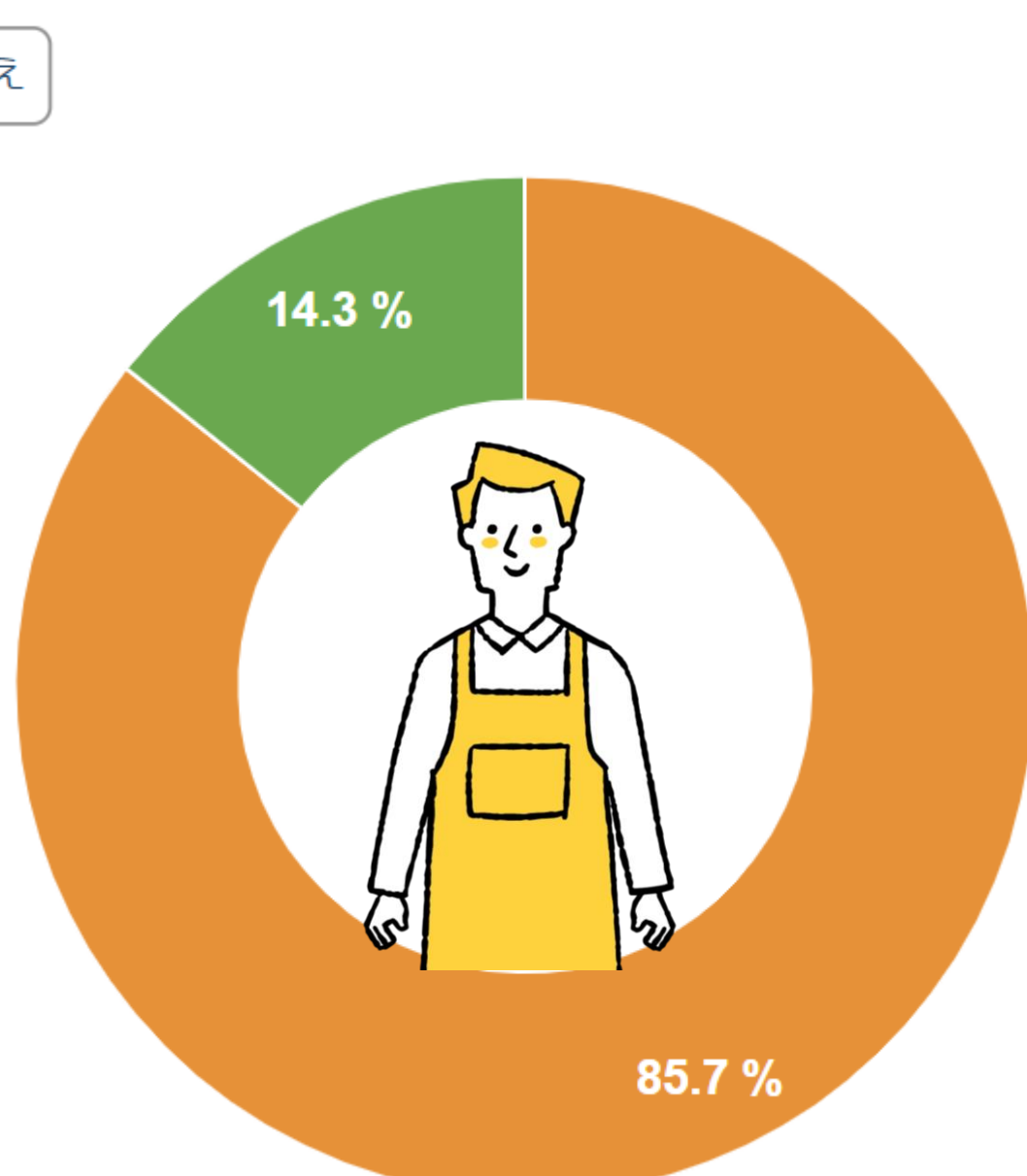
【業種別】申告準備の開始状況（1月末時点）

－2024年1月末時点で、確定申告の準備を始めていますか？

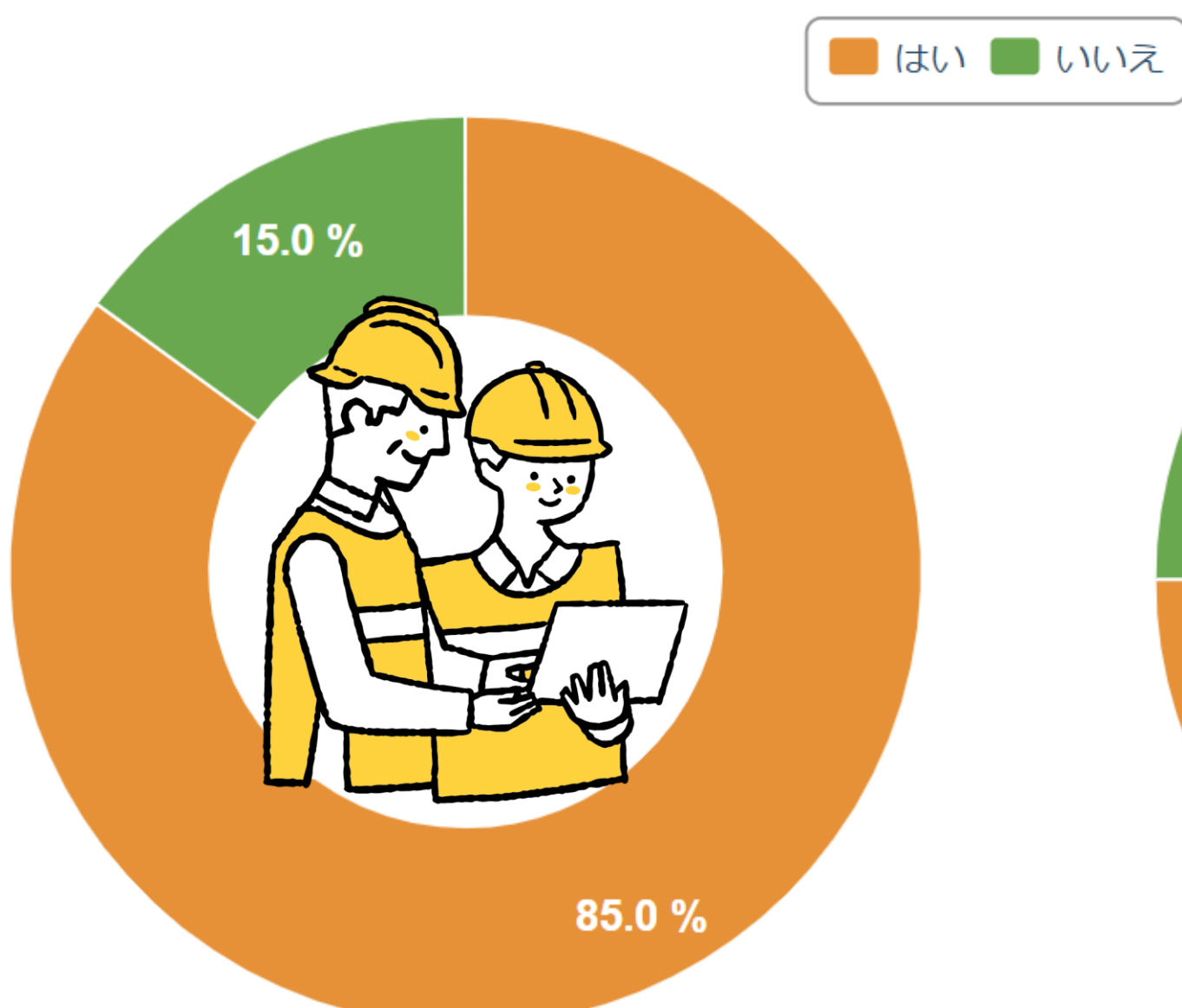
▼ 美容業



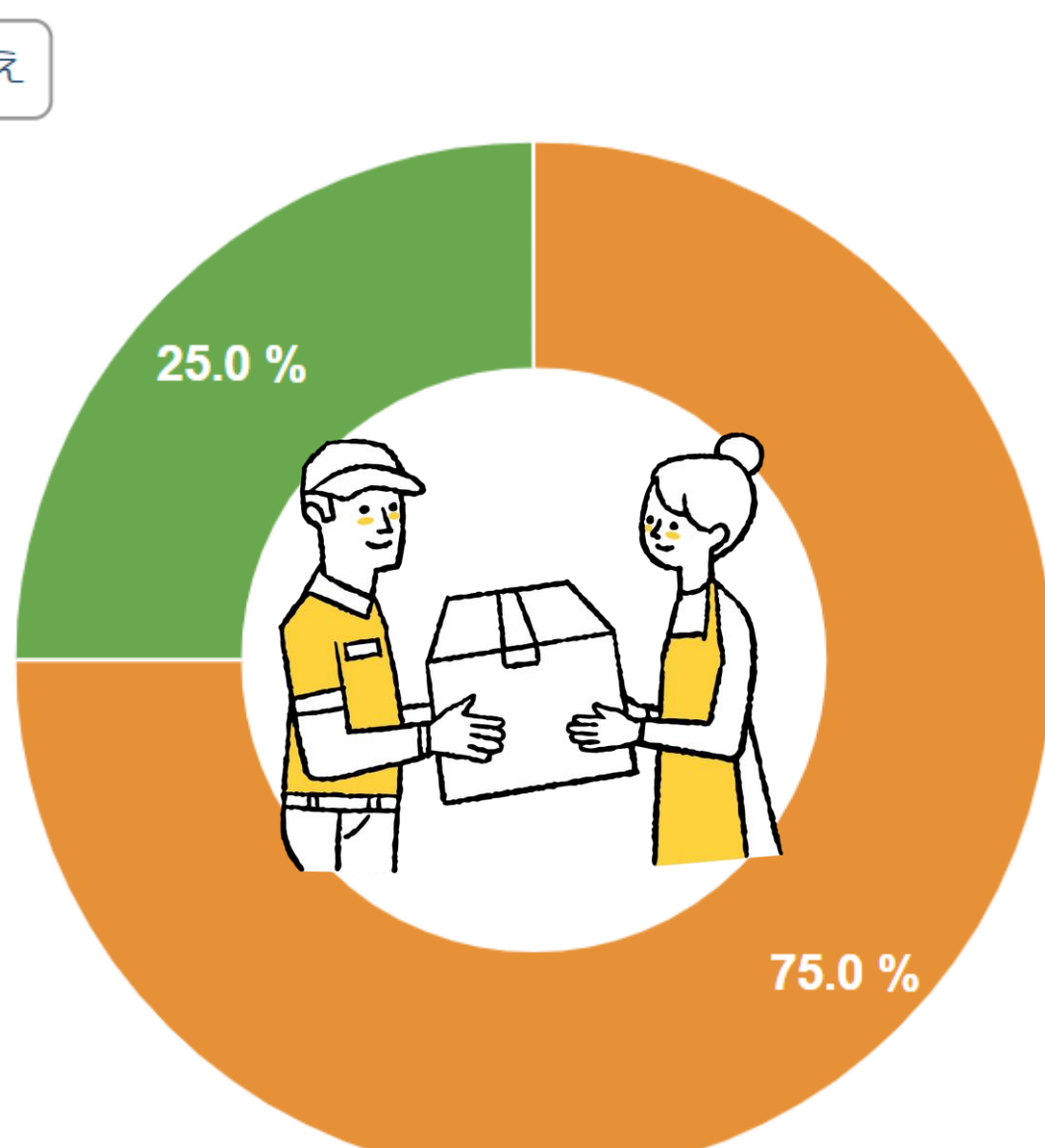
▼ 小売業



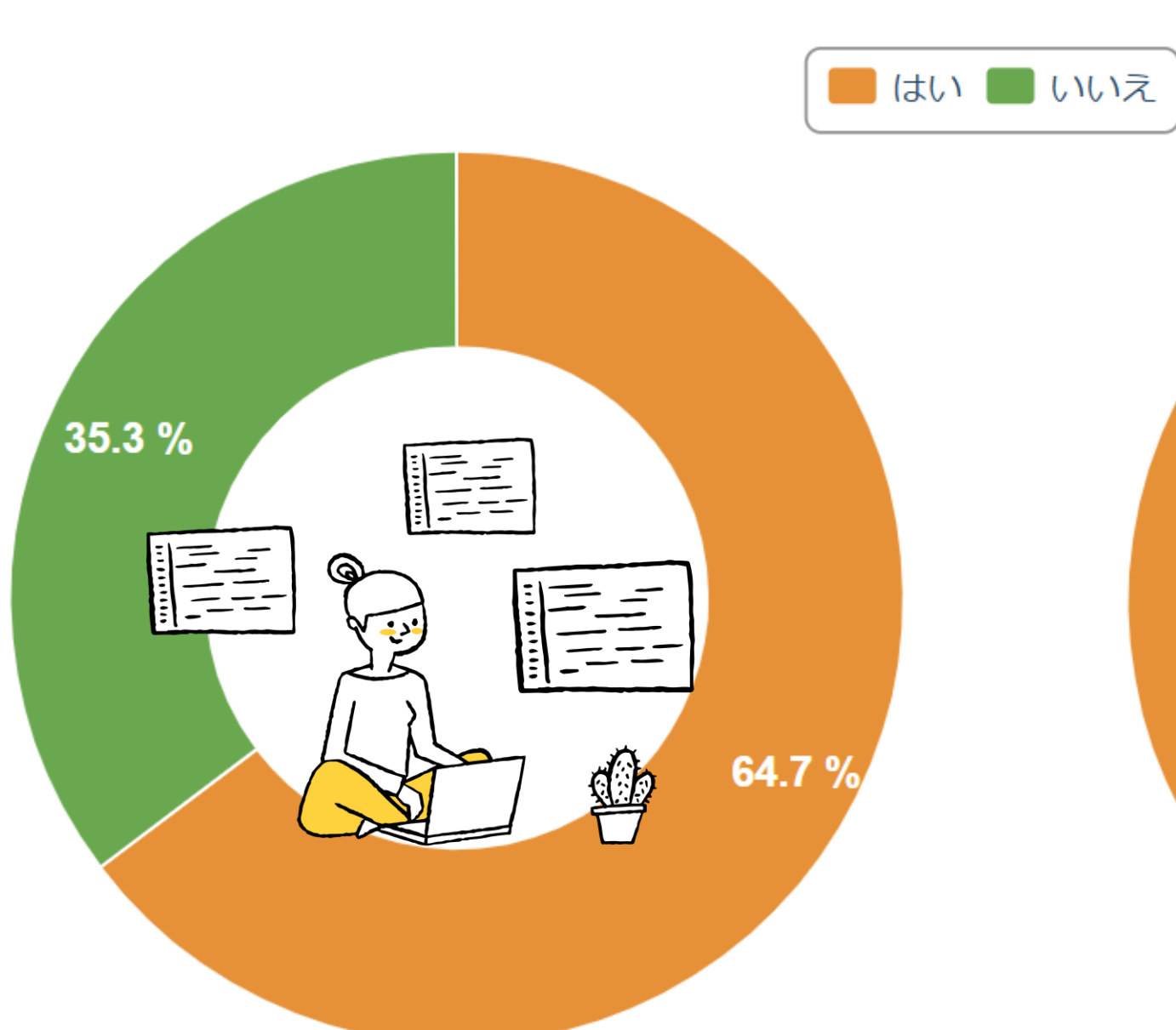
▼ 建設業



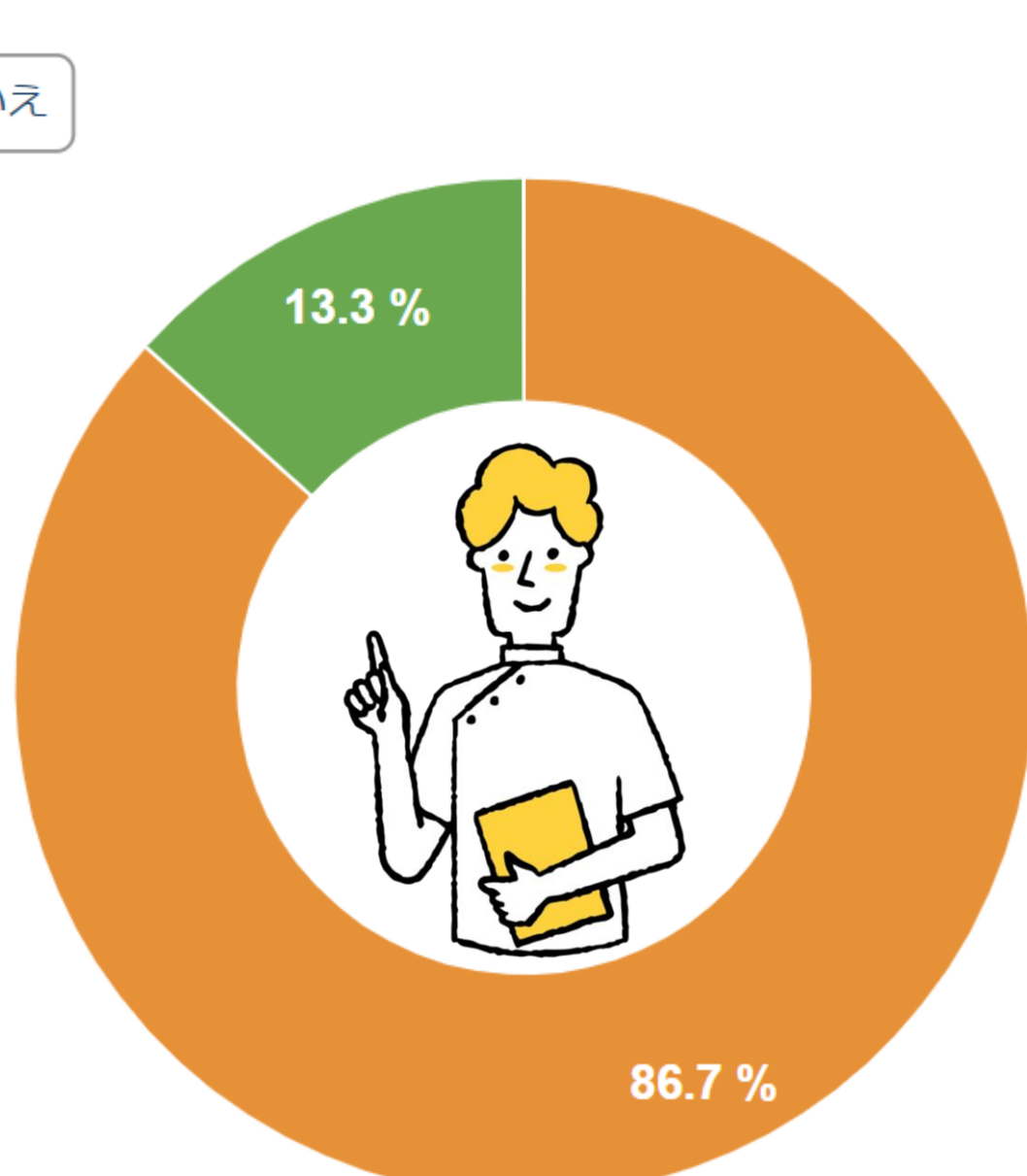
▼ 運送業



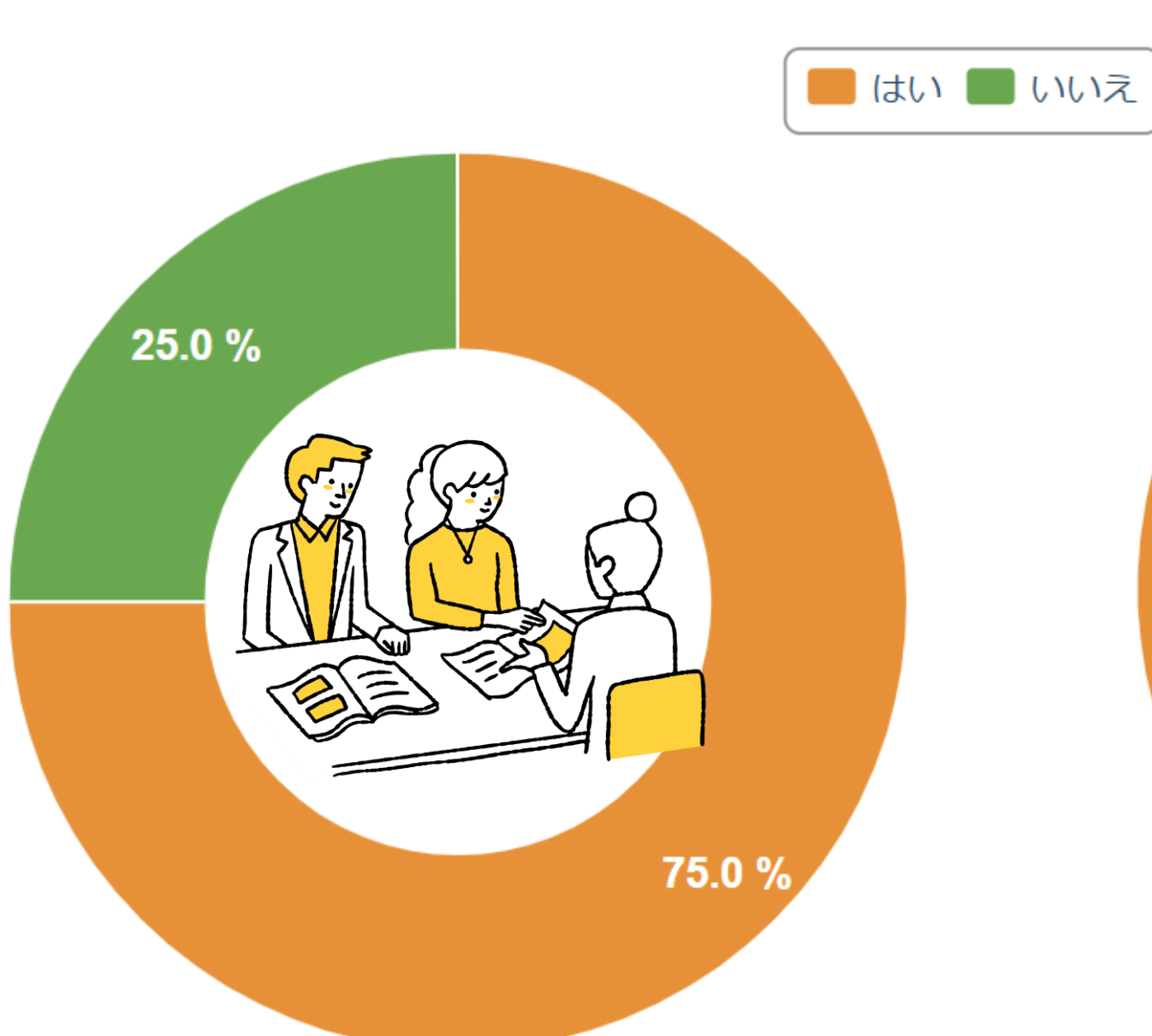
▼ WEBサービス業



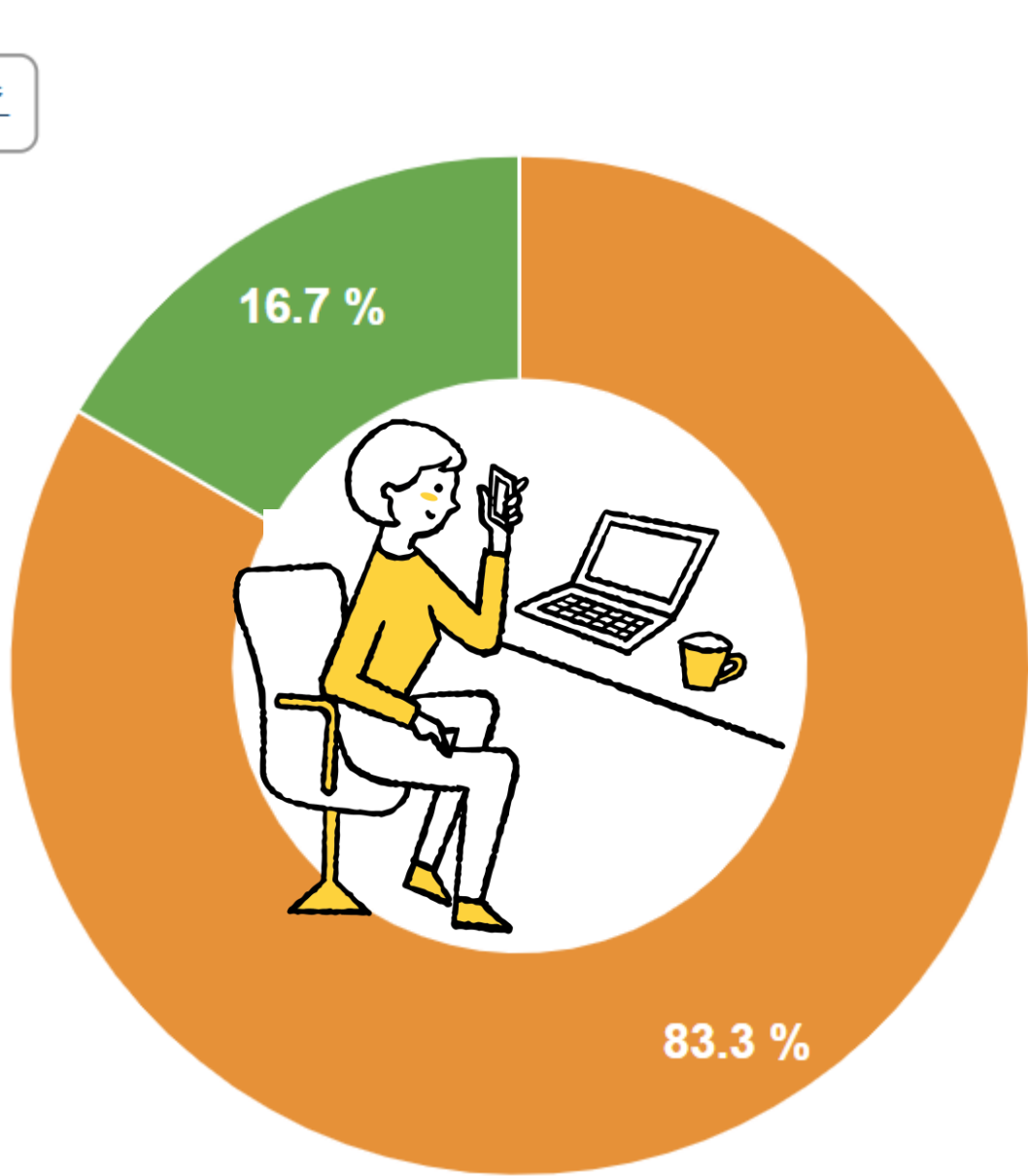
▼ 医療・福祉業



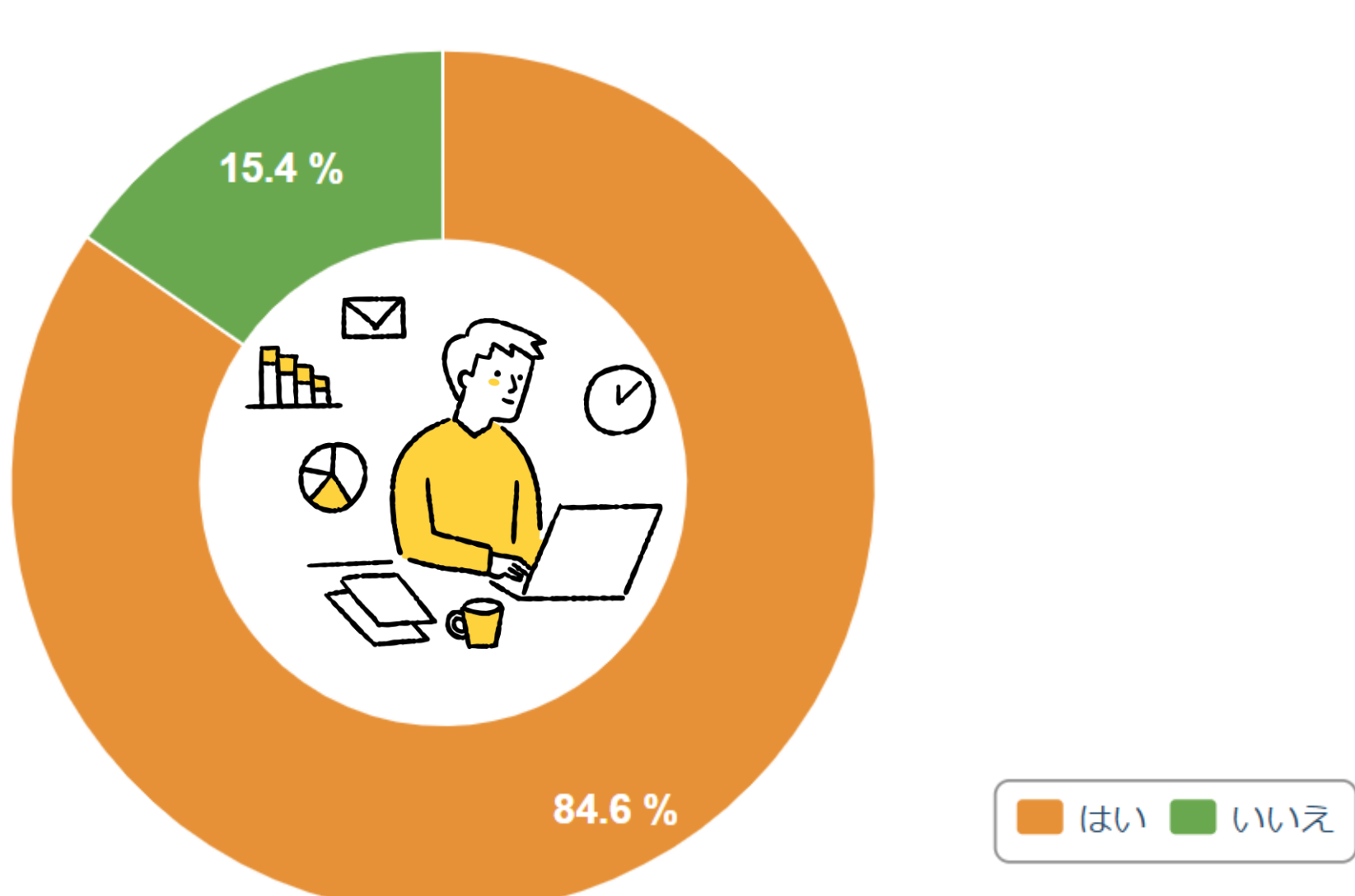
▼ 専門家（士業・FP・コンサル）



▼ 個人投資家



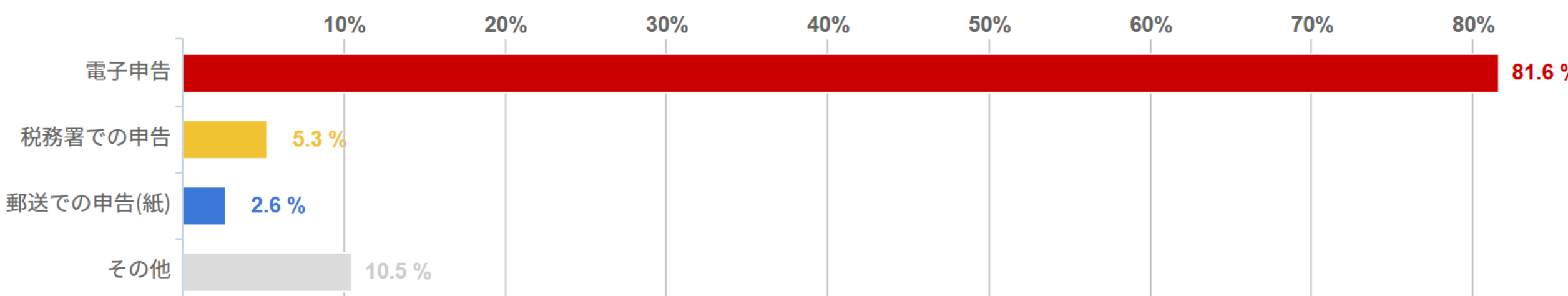
▼ その他



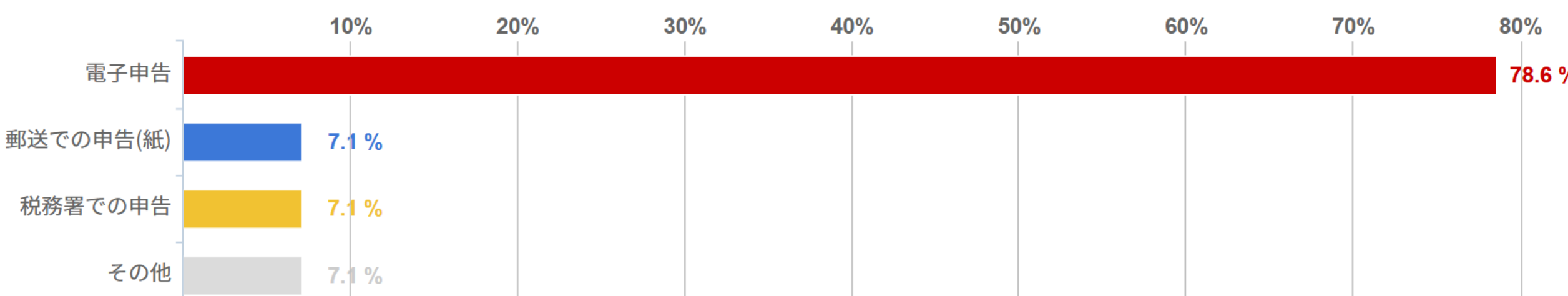
【業種別】確定申告の申告方法

－確定申告はどのようにおこなっていますか？

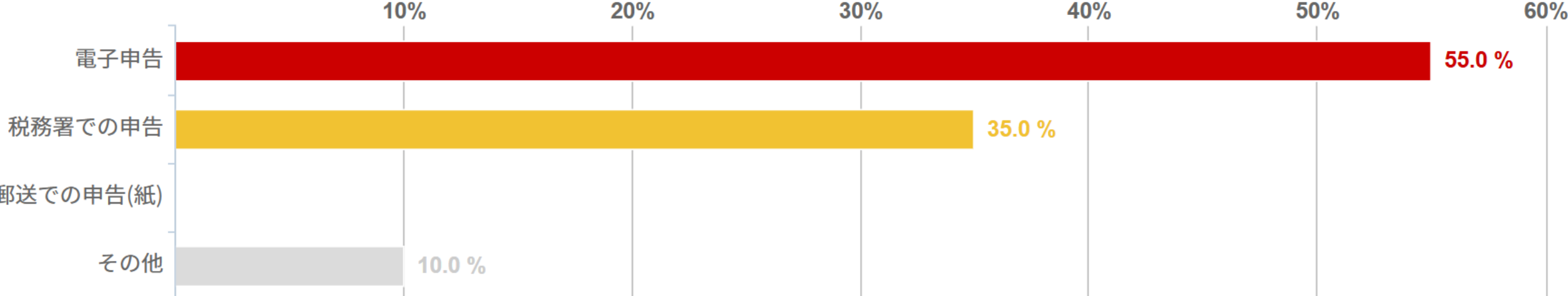
美容業



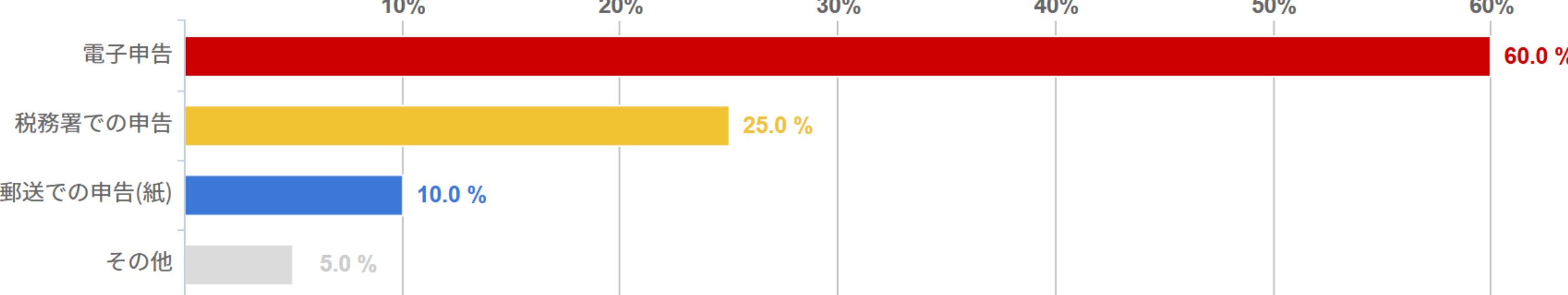
小売業



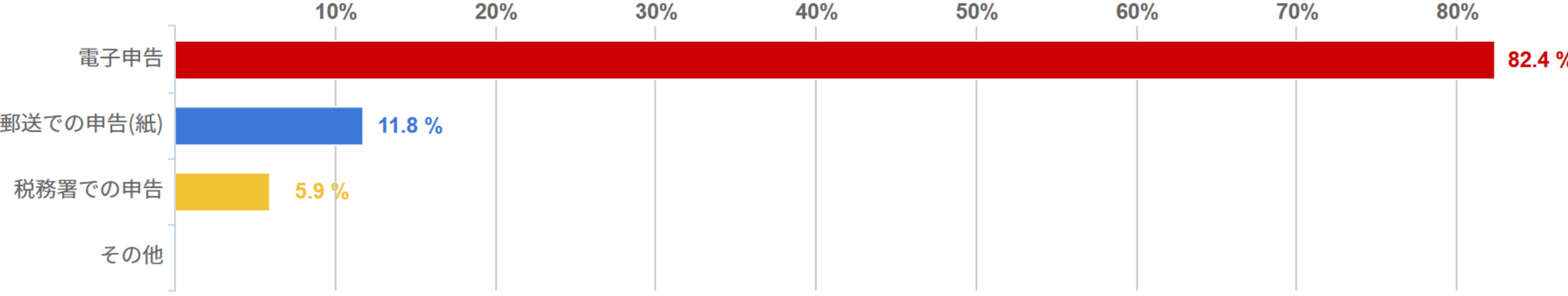
建設業



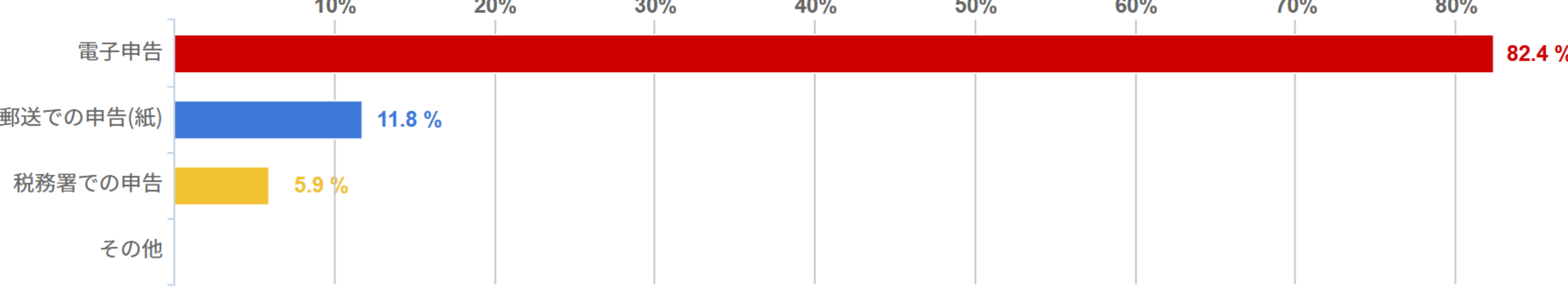
運送業



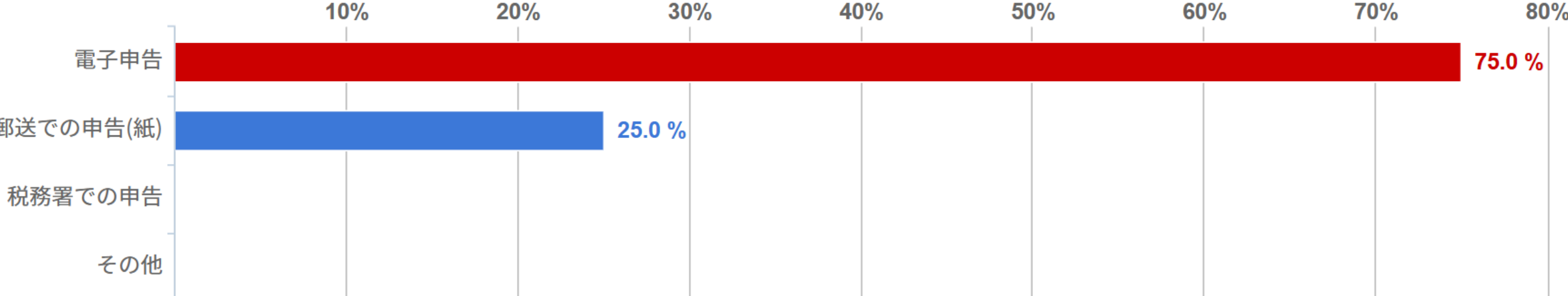
WEB・サービス業



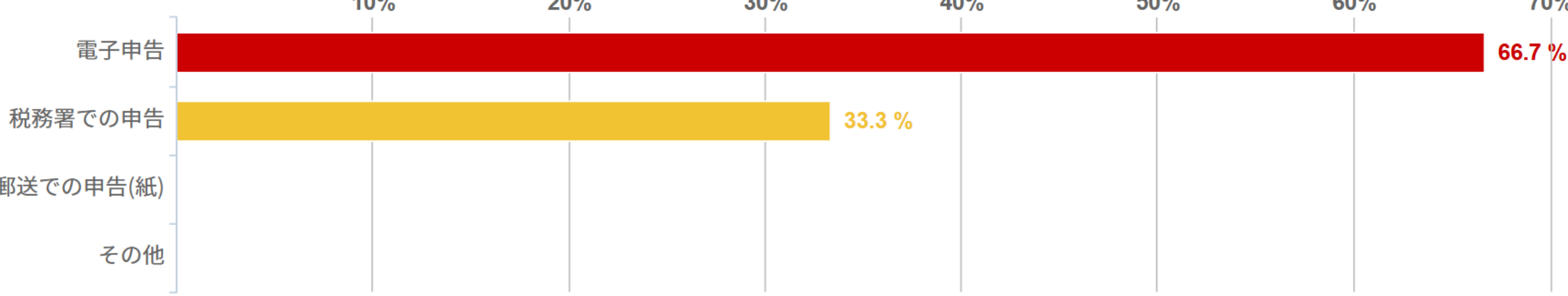
医療・福祉業



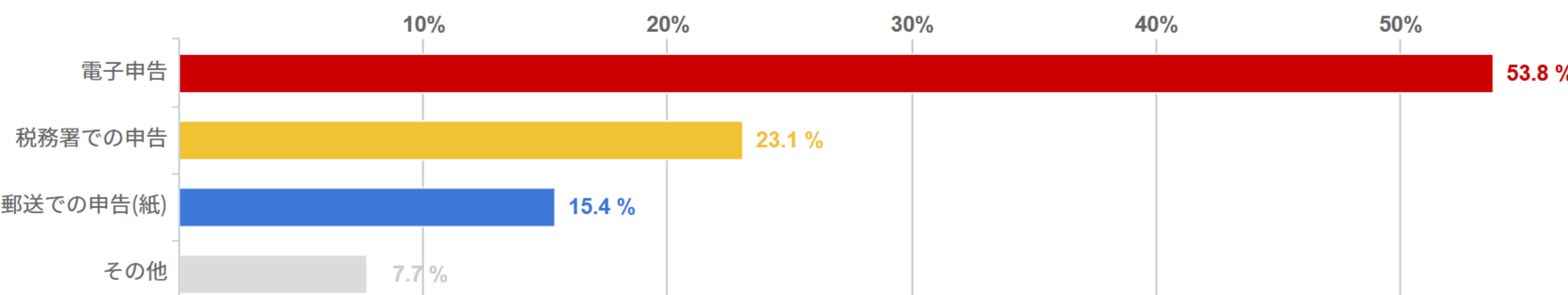
専門家（士業・FP・コンサル等）



個人投資家



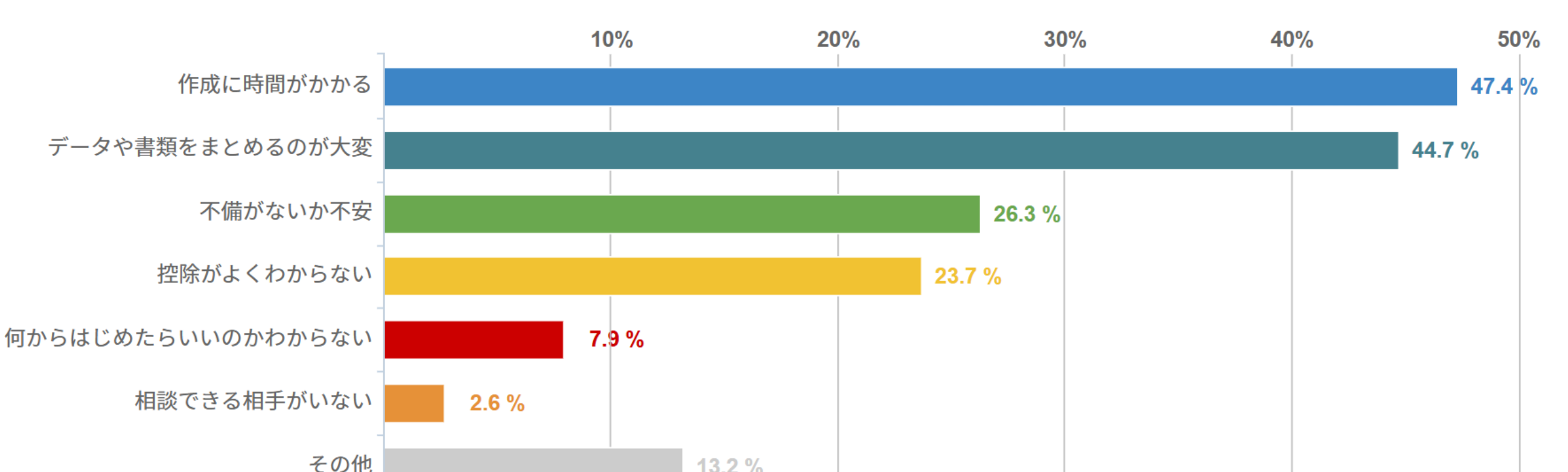
その他



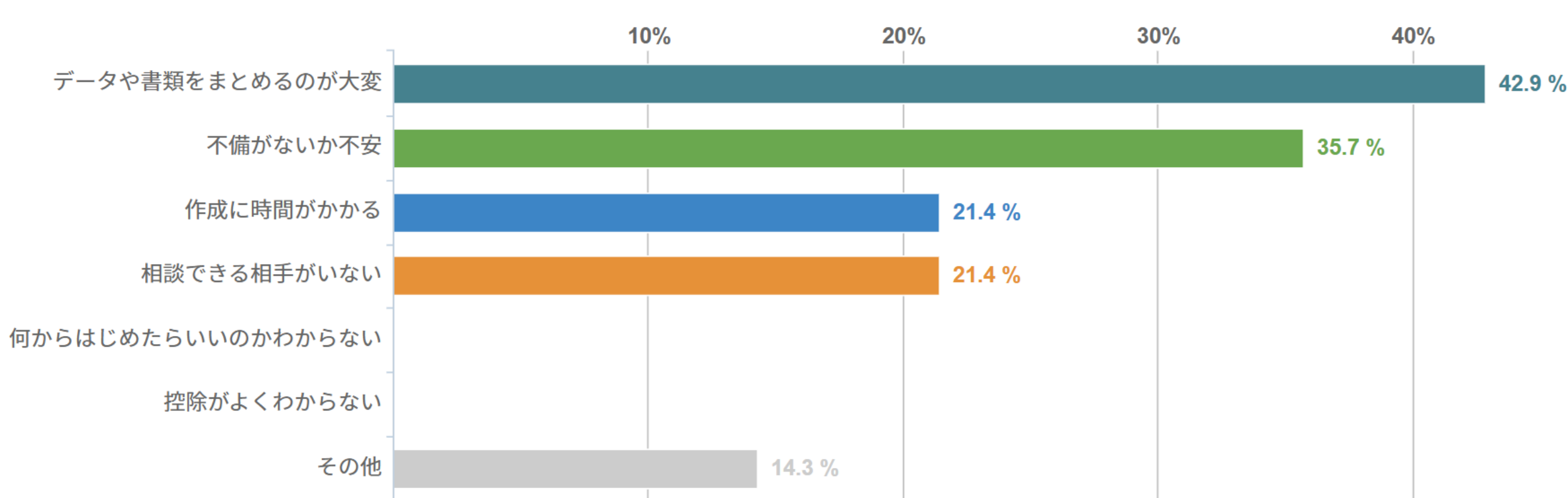
【業種別】確定申告に関する悩み

－確定申告での悩みは何ですか？

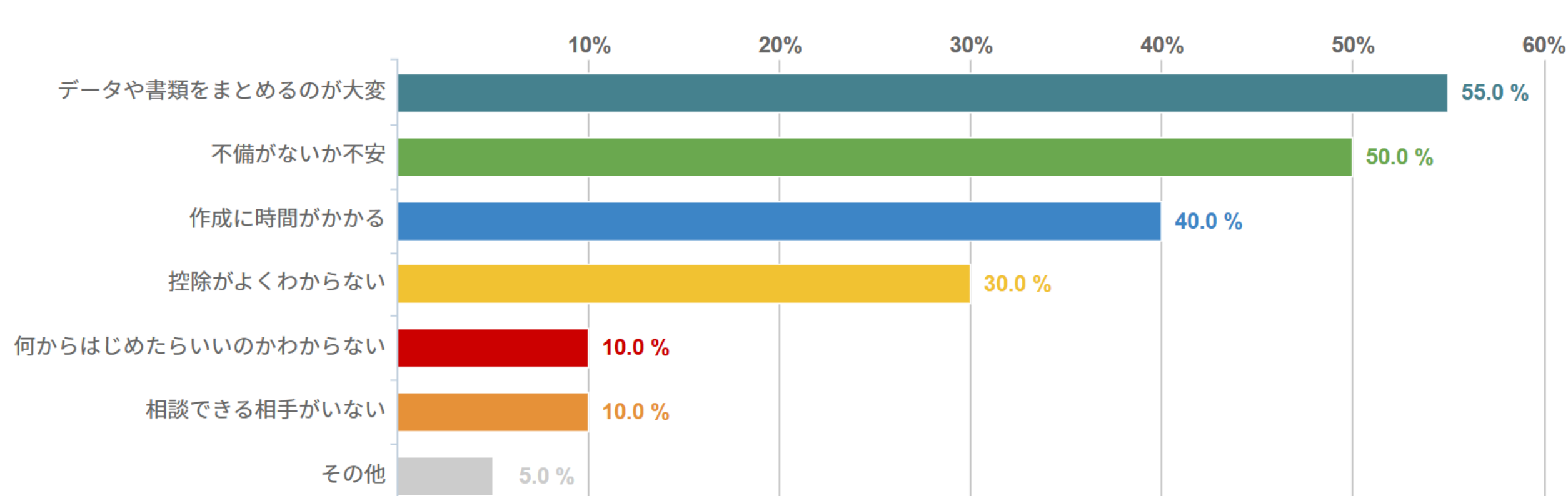
美容業



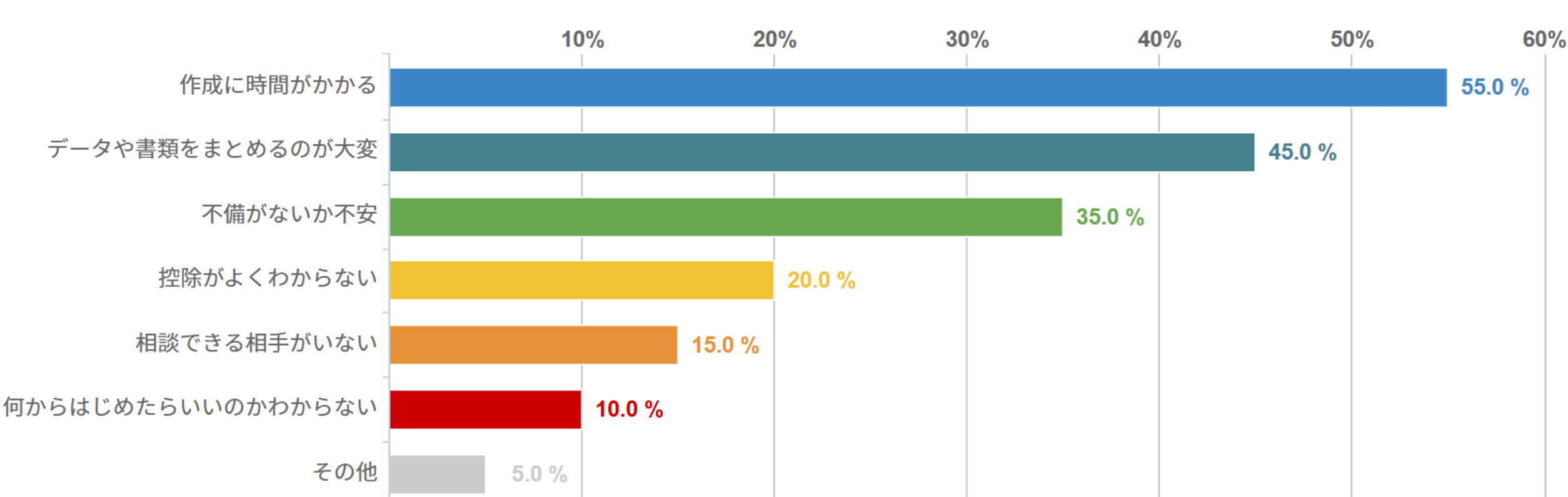
小売業



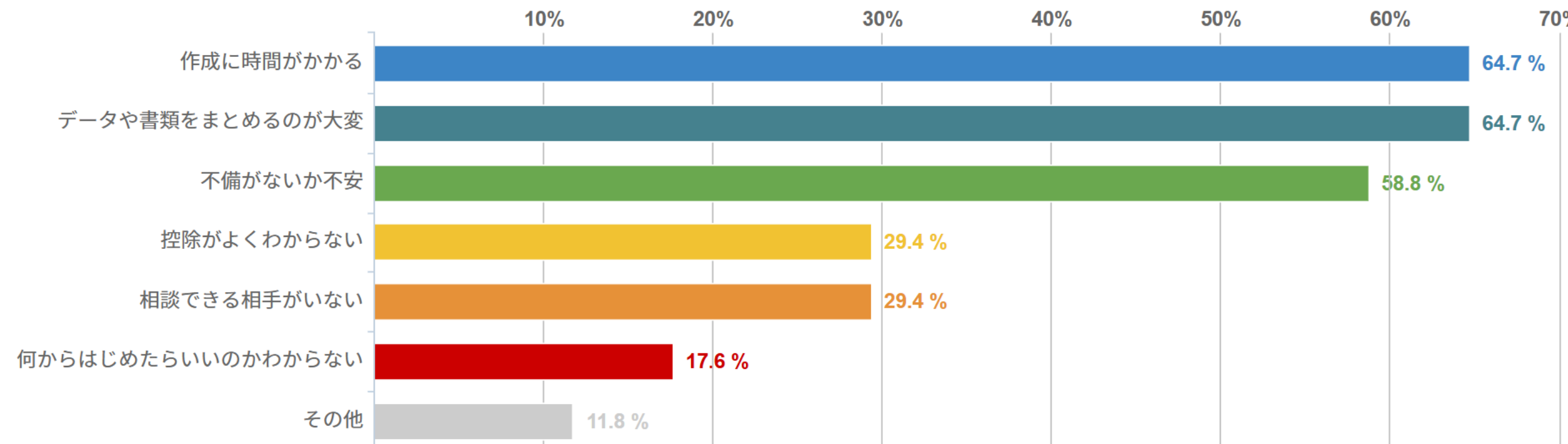
建設業



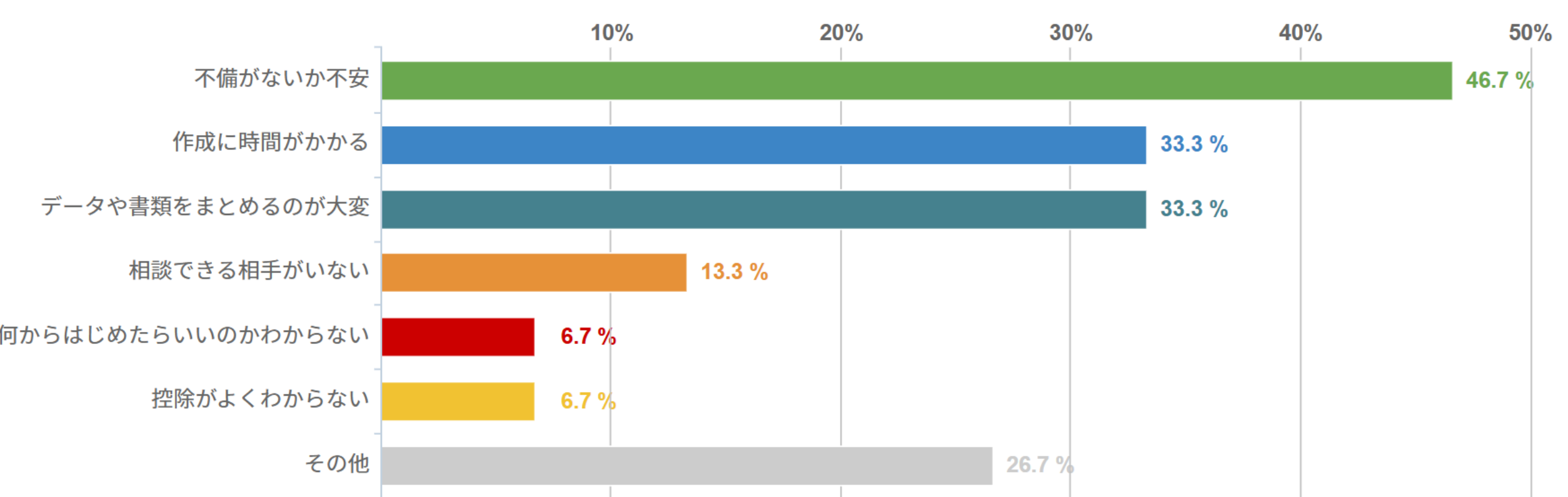
運送業



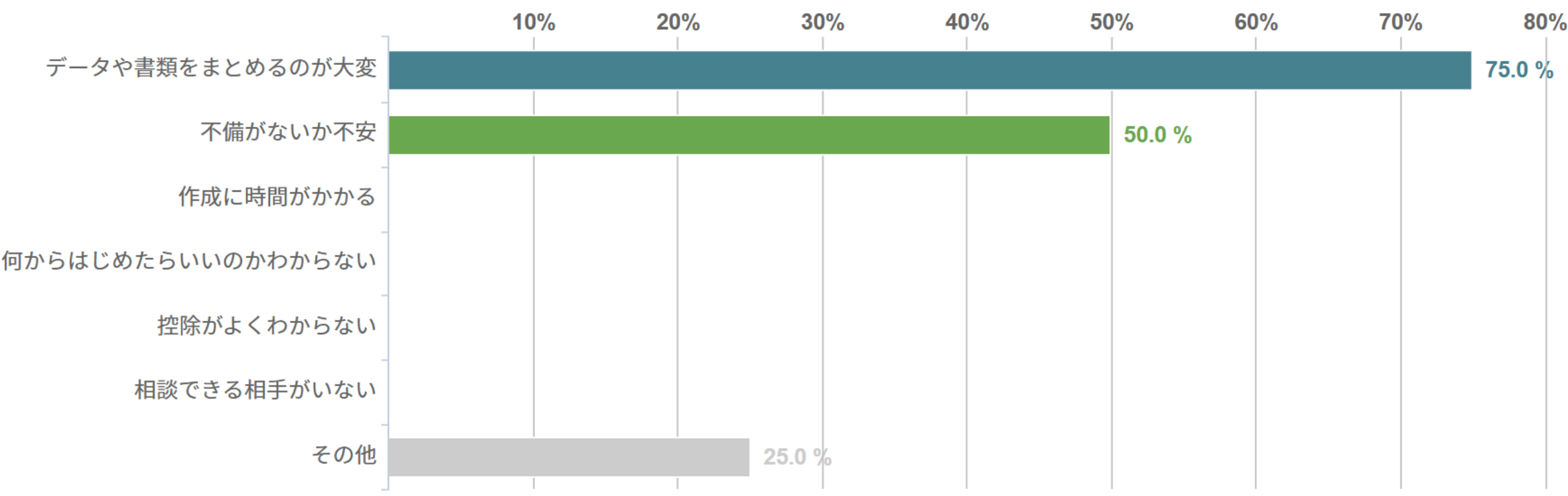
WEB・サービス業



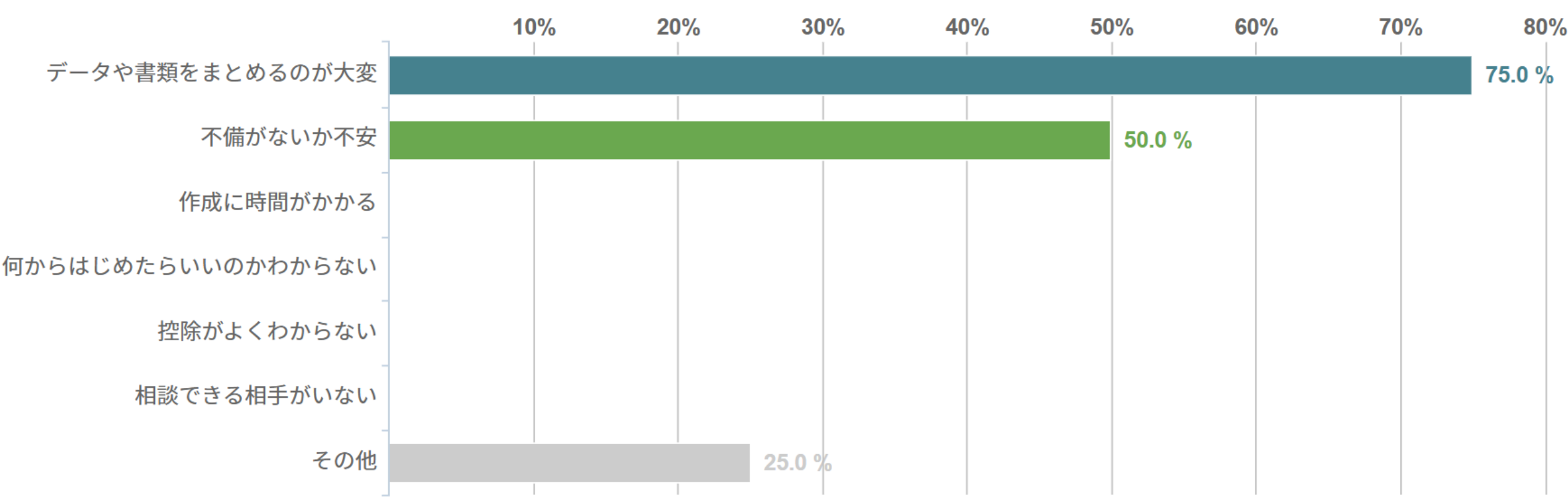
医療・福祉業



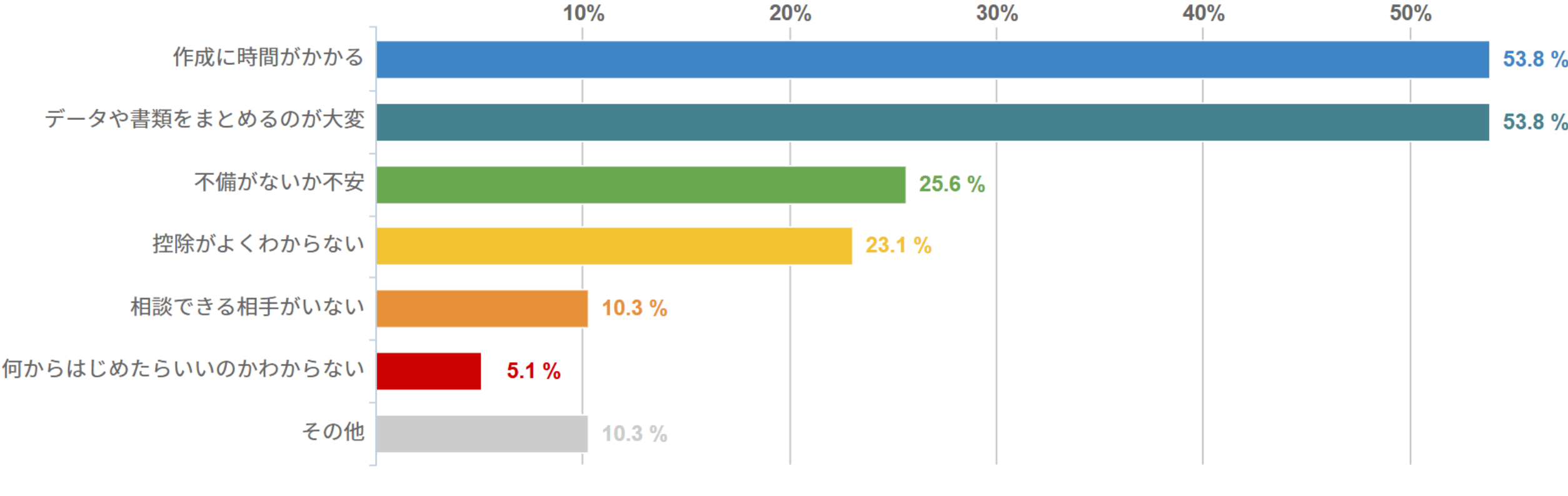
専門家（士業・FP・コンサル等）



個人投資家



その他



【業種別】確定申告での失敗・トラブル

ー過去の確定申告での失敗・トラブルがあれば教えてください

美容業

- 控除出来るのを忘れて、もう一度申告し直したこと
- 税理士さんを頼んでいない時は何が何だかわからず時間と労力がかかって大変だった
- トラブルなどはないが、さぼりすぎてギリギリになったことで経費が少なく多く税金を払いすぎた
- ずっと税理士に任せているので、特にない
- 顧問税理士をお願いしてるので、大きな失敗やトラブルは無いですが、たまに修正が必要な時がある
- 自分で申告していた時に経費にならないものを経費計上していたり控除できるものをし忘れていた
- 特に目立ったトラブルはないが、書類の不備や紛失などが多かった
- 経費に入れるもの入れないものがわかっていなくて苦労した
- 領収書をとったのをまとめて無くしてしまった時
- 初めから税理士をお願いしておけば良かったところもある
- 経費計上できるものを失念していて、のちに気がついた
- お店をオープンする前から、税理士を依頼したら、設備費等の分をしっかりと経費で落とせたと思う
- 時間がなく数字が合っていないのに気づかず提出してしまった
- 領収書をあまりとってなくて、税金がめちゃくちゃ高くなった
- 帳簿付けをためてしまい、確定申告の時にギリギリになってしまった
- 顧問税理士に過去の書類の提出が不備なことがあった
- 一年目は何もわからずに期限を過ぎてしまった
- 家賃代が1桁違っていた。1年分ではなく1ヵ月分だった
- トラブルではないが、ギリギリになってしまった
- 資料をまとめていなかったので時間がかかってしまいました

小売業

- 青色申告特別控除についてよく知らず、2、3年は白色だったので税金を多く収めることになっていた
- 申告したあとに経費の領収書などが出てきた
- 領収書の整理をこまめにしておけばいつも反省している、確定申告直前時期にいつも焦っている
- 領収書を紛失した（銀行の振り込みコピーを提出した）
- データが2重に登録されてしまい、修正するのに時間がかかった
- 入力ミスにより消費税を余分に支払ってしまったこと。その後訂正して再提出をした
- 書類が足りずにその日は確定申告ができず、また後日確定申告をするために何時間も待たされた
- 所得税や消費税を期限までに納税せずに延滞税を払うことになった
- ふるさと納税の上限額がわからなくて、上限額を超えていたことがある
- 税金が大幅に増えてしまったときがあった
- 自分自身がどの項目で申告をすべきなのかを調べるのに丸一日ほどの時間がかかった
- 減価償却を間違えて償却期間を短くしてしまった

建設業

- 青色申告承認申請書を出す時期が過ぎており、1年間無駄にした
- 申告漏れを指摘されて修正納税、追徴課税されたこと
- いつもギリギリになってしまう事 勘定科目を間違えていたこと
- 毎月 領収書等をまとめてなかったため、帳簿記載に時間がかかった
- 自分でしたら経費になるものを計上するのを忘れていた
- 今のところ確定申告での失敗やトラブルはない
- 控除できるものをせずについて申告額が多くなり、納税額が増えた
- 準備が遅れてしまって申告期限ギリギリでストレスだった
- 特にないが、毎年もっと早く日頃から準備をすればよかったと思う
- 今年が初めての確定申告なのでわからないことばかりでバタバタしてしまった
- 領収書の損失などお金の流れが不明になること
- 申告後に返答がこないのも、あってるのか間違ってるのかわからない…
- 去年の申告で、個人事業主なのになぜ社保に入ってるのか質問され、上手く答えられなかった、 今年 は、社会保険証を持ってくるようにいわれている
- 以前頼んでいた税理士さんは申告期限の最終日まで連絡が取れず、タッチの差でギリギリ間に合った事がある
- 電子証明書の期限が切れてて、e-taxで申告が出来ない年があって、慌てて郵送で送ってギリギリ間に合ったことがある

運送業

- いつもギリギリになってからは始めるのももう少しはやく用意しとくべき
- 特に無いが領収書を無くしてしまった事がある
- 失敗はないがイマイチ100%理解して申告できていない為不安
- 経費計上できる項目を申告するのを忘れてしまった
- 家族の障害者控除を計上するにあたって、私と父親の両方で確定申告に誤って計上してしまった事
- 控除出来る内容が他にあるのではないかと思うがわからない
- 最初の方はやり方がわからず、出さなかった控除とかがあった
- 年度を切り替えずに帳簿を作成してしまった
- 今回初めての確定申告ですが、収支内訳表など分からないことばかりだった
- 経費計上をし忘れたものがいくつかあったことがある
- 計上の記載を間違えており、修正申告をしにいった

WEBサービス業

- 失敗・トラブルは具体的には何もないが、毎年不安な気持ちのまま提出している
- e-taxで送信したと思っていたが送信されていなくて追加で税金を払った
- 経費計上する項目に申請漏れがあったことに申告後に気がついた
- 計上できたレシートを記載漏れしてしまい、経費の計上で損をした
- 紙の書類で申告していたときは記入漏れなどで何回も提出し直した
- 準備をするのが遅くなり、期限までに申告できなかった
- クレジット明細をインターネット上からうまく取得できず会計ソフトの処理に時間がかかった
- 健康面に関して、 通常業務をこなしつつ、確定申告もあるため、疲労が酷く数か月何もできなくなることがあった
- 消費税の簡易課税の申請が間に合わず、原則課税となってしまった年があり、多く消費税を払う羽目になった
- 一度、e-taxでの申告後、税務署から封筒が届いたことがあり、封筒の中には寄附金受領証明書を早急に提出するようにという内容が記載されていた。すぐに当書類を郵送し、その後何も連絡がなかったが、「e-tax申請 → 一部書類は郵送or税務署に持って行って提出」という制度であることを、その時、初めて知った、これならe-taxの意味が無いのでは…。すべてをe-taxで完結できない仕組みに、モヤモヤした覚えがある

医療・福祉業

- 電子申請できるが書類が足りなくてうまくいかなかったこと
- ふるさと納税控除の記入ミスで住民税控除がされなかった
- 保険の控除を一部記載し忘れていて、控除の額が少なくなってしまった
- 株の貸株金利の収入を忘れがちで30パーセントの税金が大きく影響した
- e-taxの申告作業が毎回手こずること
- 経費の項目で迷う内容のがあり、質問に時間がかかった
- 知り合いに頼んだら申告出来る経費等を全て教えてもらえず、その人に支払う報酬は高くなったこと
- 昨年、ネットで申告を試みましたが上手くいなくて、諦めた
- 自分で計算したら控除できるものが抜けてたりしていた
- 申告期限が切れてしまった事がある。税務署へ申告に行けなかった
- 確定申告の際の棚卸で毎年苦戦しているので今後解決していきたい
- 控除関係の書類やその他必要書類の不備など
- 自宅の一部を事務所扱いしているのに、事務所分の減価償却や通信費、光熱費を経費計上していなかったのは後悔している
- 会計士を使っているのに、自身の失敗は無いが、 会計士のデータを見た時に間違いを発見した事や、会計士の申告が間に合わなかったこと
- 前は税理士事務所で働いていた幼馴染に頼んでいたが、急遽亡くなった為、ギリギリで今の税理士さんに頼むことになったこと
- 確定申告に向けて電子申告をしようとする際に、スマートフォンアプリ上から会計アプリ、確定申告アプリと使っているが電子申告、e-taxしようとする際にスマートフォンがマイナンバーカード読み取りに対応していない機種な為確定申告期限に申告する際に準備が間に合わず結局税務署へ出向いていた

専門家（FP・士業・コンサル等）

- 自分でやってる時は、経費の扱いがわからなかった
- 控除漏れや経費計上漏れがあった。きちんと正しく申告しようとする税法自体が難しいため、本当に正しいのかはよくわからず申告している

個人投資家

- マネーフォワードクラウド確定申告に入力しているデータを税理士に正しく共有できていなかった
- 記入の方法が分からずに何度も確定申告会場に通ったこと
- 暗合資産の海外取引所の取引データがとれなくて困ったことがある
- 一昨年初めて申告する際に暗号資産関係を取り扱える税理士を探すのに苦慮した
- 税務署で相談し教えて頂いた通り計算したがその方法が間違っていた。その後税理士に修正申告して貰ったが延滞金約8万円がかかってしまったこと

その他

- アスリート
 - ・ 青色申告と白色申告の違いがわからなかったこと
- サービス業
 - ・ 特にないが、随分経った後から還付されることもあったので、税金の計算が合っているのか確認できるようにになりたいと思った
- システムエンジニア
 - ・ E-TAXのホームページの使い方、電子申告のやり方がわからず非常に手間取ったことがあった
- セラピスト
 - ・ 開業時、青色申告の承認申請したつもりが出来ておらず、白色申告に。にも関わらず青色申告会に入会し確定申告を代行してもらっていた
- 飲食業
 - ・ 事業を始めたころに入力ミスや入力漏れが多かった
- 映像企画制作
 - ・ コツコツ経費をソフトに入力すれば良いのたが、溜めてしまう
- 外部指導者
 - ・ 経費を計上し忘れた事がある。 計算間違い
- 教育業・教育サービス業
 - ・ 今年から開業したため今後が不安である。損をしたくない。
 - ・ わからない点について税務署で相談して申告したのに、次の年に前年の申告が間違っていると指摘されてやり直すことになった
- 空調設備
 - ・ 勘定科目がよく分からずに調べるのに時間がかかった
- 情報通信業
 - ・ e-Taxで上手く送信できず、結局紙での申告になり手間がかかってしまったこと
- 電気工事業
 - ・ 出張の際の食事は当然経費として認められると思っていたが、そうではなかった
- 不動産業・アパート経営
 - ・ 過去に申告した電子申告の最終版保存データが、見当たらなくなり困った
 - ・ 順番待ちで長く待たされてなかなかできなかった
 - ・ 今年から個人事業主として初めて申告をするのでまだない
 - ・ 期日締め切り日に注意すること
 - ・ 税理士が不動産賃貸業の知識がないので、明らかな間違いがあった
 - ・ 経費、控除額を間違えて更正の申告に手間取ったことがある
 - ・ 過去に扶養控除をかきわすれて、後で更正の申告をしたこと
 - ・ 何故か年があけると調子わるくなる親の介護で還付なので大丈夫と確定申告10年しなかったら、還付申告は五年までしか遡れないとわかり、5年分がパーになった
 - ・ 担当税理士がいない頃は、青色申告会に入り自分で行っていたので大きなトラブルはないが時間と手間がかかっていた
- 部品組みつけ
 - ・ 他にも経費として申告できるものがあったと思うが知らなかったこと
- 便利屋
 - ・ 昨年は1ヶ月だけの申請だったため、簡易な相談で可能だった。 今年インボイスもあり複雑だが、相談しながら進めたいと考えている
- 保険業
 - ・ 税理士さんをお願いして確定申告をしているので、特に問題はない
 - ・ 控除がもっとあることを気付いておらずに申告してしまった
 - ・ 過去の確定申告で今まで失敗やトラブルはないような気がする
 - ・ 自分で申告していたがインボイス制度ができ面倒くさい作業が多くなりそうなので、委託した
 - ・ 課税事業者に関する書類を誤提出してしてしまった
- 翻訳
 - ・ 経費を入れ忘れたことや雑所得の計算がわからず確定申告代行サービスの会社に相談したら高い請求がきた

【業種別】確定申告に関する課題・悩み

ー過去の確定申告での失敗・トラブルがあれば教えてください

美容業

- 勤めていたら、自分から勉強しないと仕組みがほとんど分かっていないこと
- 経費がどこからどこまでが行けるのかわからないのとカード払いの入金が遅いのでめんどくさい
- 完全に事務方を作り任せたいが、まだそれができないのが悩み、スタッフを雇うか悩んでいる
- どの程度までの経費が適応されるかを理解しておかなければならないこと
- 知識がない人が多く税理士に足元を見られやすい。料金や節税対策などグレーな部分
- 忙しい美容師は休みの日に準備をすると思うがそもそも休みが少ないので大変
- 材料費などがかなり圧迫しているので、経費が本当にかかるようになってしまった
- 毎日の売り上げをコツコツ入力していかないといけないのが大変です。 入力することが多すぎる
- 一番の悩みはめんどうなところが多いと感じます。もう少し簡単になれば助かる
- 小規模な組織が多いので、経理や事務を専門とするスタッフがいらない
- 毎回早くからしようと思うがなかなか出来ない。 提出がギリギリになってしまう
- 自分の業界における事は分かりませんが、経費計上や控除など悩む人は多いと思う
- 自分でやってないからよく分からないけど、フリーランスの場合何が経費で落とせるのか悩む
- フリーランス美容師などのインボイス制度などについての影響について
- 小さいお店だと税理士にかかる金額が高いけど 自分でやろうと思うとなかなか難しい
- 確定申告を全て自分で行なっている方もいると思いますので、大変だと思う
- この時期になると一気にやるので領収書の山なので時間が掛かるので大変
- 毎日やればいいのに ために溜めた仕訳の入力作業が大変になる
- 経費として落とせるものが増えてほしい インボイスが面倒
- 過去の書類の管理と必要書類の見極めについて個人事業主の方々でうまくやっている方法を知りたい
- 毎年、年末になるとデーターの入力が後回しでできておらず、慌てる
- 時間がとてもかかるので、毎年早めに取り組みたいとおもっているが、なかなか取り掛かれない
- 個人事業主で1人美容師が多いので、仕事以外の税とかの実務まで手が回らない
- 毎日コツコツと準備をして最後にバタバタしないようにしたいと毎年思っているが出来ない
- 売り上げが上がっているのは嬉しいことなのですが、支払う税金が増えて困っている
- 自分で確定申告をする人は、サロンワークをしながら時間をつくって作業をするので大変
- 各お店ごとに違うと思うが、どうやったら節税になるかを知りたい
- 仕入れ先が複数あったりするのでややこしくなりやすいことがある
- 商工会だと無料なので今のままでもいいと思うが間違えがあったため、税理士に頼むか迷っている(費用面などで)
- やはり個人事業主の場合、自分で作成する方が一定数いらっしゃるので、何から手をつけたらいいかわからないと思う
- ほとんどが1人2人で営業している。個人の美容室が多いので、自分自身で確定申告をされている。サロンさんが多い。なので、確定申告の知識等はほぼない状態である

小売業

- 分離課税、総合課税がわからないので、節税をどこまでやっていいかわからない
- 業界自体は売り上げが激減しています。赤字申告になると融資ができなくなるのでその辺りが難しい
- 小売業は商品の仕入れが多いので、仕訳をするのに労力が伴う
- 自分でやっているため、不備や間違いがないか不安なこと。税務調査の件など
- 納税額などデリケートな話になってしまうので、同業者などと気軽に話せない
- 必要経費があまりないことが悩みです。人件費以外、かかる経費が少ない
- 仕入れ先が増えると管理が大変になる
- 機材がたくさんあるので減価償却資産が増える
- 不備がないか不安。 提出に時間をとられる。 相談できる相手がいない。 確定申告についての情報収集の仕方がわからない
- 業界でみると個人ではなく税理士に任せてるためあまり大きな悩みは無いと思うが、個人でする方は経費計算が日々多いため大変だと思う
- 海外取引におけるドル円の換算、売上の付け方、消費税還付について複雑な手続きが必要なため、仕組みが分かっていない税理士に依頼すると失敗する可能性がある。

建設業

- 申告後の返答がないので、あっているのか間違っているのかわからない。
- 仕訳は自分のところでやって確定申告だけ税理士にやってもらってるのがあんまり好ましくない
- 業界における経費として認められるものの判断基準がわからないこと
- 申告してない人が多い。 特にひとり親方でやってる様な職人とか
- 建設関係の職人が多い仕事なので間違えて覚えていたりする人が多い
- 業者とは売り掛けの付き合いなので、書類の不備がないか心配に感じる
- インボイスや電子帳簿保存法などで変わって覚えて対応するのが大変
- 大きな設備投資が無いため、経費の額がそれ程増えなく、税金が高くなる
- もっと簡単に自分で申告できて、時間もかからないのが1番ベスト
- この業界だから、とかではなく単純に領収書などの整理が大変
- 特に食事などの接待交際費を、どの程度まで申告して良いのか、程度がわからない
- インボイス制度やデジタル化で作業が増えて手間がすごくかかり管理が大変
- 面倒臭いのと果たしてこれで良いのかと思う不安な気持ちになる
- 個人事業主、いわゆる一人親方の知人が多いため、みんな領収書の保管が大変だと話している
- もっと簡単にお金の流れがわかれば確定申告も早いと思う。建設業界用電子マネーで決済など
- 個人事業主なので、必要経費など出来るだけ出しているが、もっと所得税が抑えられたい
- インボイスが始まって請求書などの書類や取引き方法など未だにはっきりしない事やあいまいな部分があるのでインボイスがなくなればいいのにと悩んでいる

運送業

- 全部1人でしているため、わからないことがあればいちいち調べないといけないので時間がかかる
- 書類、資料を作成するのに掛かる時間が膨大であり、大変である
- 税金対策として経費の計上増しをするためにはどうすればいいのか悩んでいる
- 経費における按分比率が分かりにくく税務署にあまり理解されていないこと
- 経費の項目で家賃按分などほぼ家賃はかかっていないためもう少し何か経費がないか悩む
- 個人で確定申告を行っているため、準備、作業に時間がかかってしまう
- 一番気になるのはどこまでが経費でおとせるのか、勘定科目はどれをつかえばいいのかが悩み
- それぞれが一人親方でやっているの、なかなか時間がないこと
- 確定申告に関する課題、悩みは強いと言えば経費比率が徐々に増えていっている
- 私の業界は比較的確定申告が簡単なので特にないと思う。あと申告してない人は多い
- 毎年、新しい情報が入り、ついていくので精一杯であること
- 経費をどれだけ入れることができるかによって、節税の差が出る。
- 経費科目は少ないのであまりない。 交通費が結構かかっている事に気づく
- 他業種に比べると経費項目も少なく、確定申告はしやすい方だと思う
- ガソリン代や駐車場代、高速道路代や車の修理費、整備費以外で経費として挙げられるものがイマイチ明確でないところ

WEB・IT関連業

- やはり手間がかかって、終わるまでずっと気になり続けることですかね…
- 税理士に依頼している人もいれば自分でしている人もいる、みんな不安なまま作成していると感じる。
- 国税庁HPで説明支援があるが、複雑すぎると感じる
- 業界的に経費が少くなりがちなので税金が高くなり、SEは加入できる組合がないため、保険料も高くなりがちである
- 経費の範囲が分かりづらいというところだと思います。按分部分が特に
- とにかく面倒くさすぎることで、どこからどこまで収入でどこから経費にできるのか
- 電話問合せなどかけても待ち時間も長く、一つ一つに時間がかかる
めっちゃう手間暇と時間がかかりすぎる。税金がややこしすぎる
- 分からないことや判断に困るような事があった場合に気軽に相談できる相手がいない
合っているかどうか不安になるので、それが悩みといえは悩みだと思う
- とにかく年始からの手間や作業が増えるのでその期間の作業が遅れがち
確定申告の方法を各自で調べて行っており、業界全体で考えて非効率になっている
収入・控除の把握、締切厳守、正確な記載が確定申告の主な課題
今は個人事業主だが、今年の夏あたりから法人にする予定のため、法人用の確定申告が必要になる
毎月決まった日に一定額支払われるので業界的な悩みは特にないが、経費に関して業界との兼ね合いが難しい
IT業界では、商品の在庫や特定の店舗など不要で、あまり経費のかからない業界だが、どこまで経費にできるか？ 売上に対する経費はどのくらいが適切か？ という点で悩んでいる方は少なく無い
業種的にも電子申告が浸透している、以前は住基カードによる申請が面倒だったが、マイナポータルができてからはカードリーダー、ソフトウェア、認証情報等の導入の必要が無くなり、楽になった

医療・福祉業

- 収入が複数個あるために一つずつやらなければならない、手間がかかること
- 悩みでは無いが、もっと簡単に申告出来て、今後税金も安くなって行けばと思う
- 事業税や消費税のラインが分からない人もいるかもしれない
- 保険請求か、自費診療かによって税金が変わってくるので、そこが悩みにはなるかと思う
- とにかく複雑すぎる。税金の支払いの為働いていると思うと働く意欲が沸かない
- やっぱり手間。時間も労力もかかるし、そうかといって税理士さんをお願いしようにも周りにいない
- 項目が多くなってしまい、時間がかかる。枚数が多くなってしまう
- 税金の控除、節税、売り上げに対してうまく税金対策ができていない
- 税務関係に関する知識が乏しくまわりに相談出来る環境、相手が中々いない
- 周りに確定申告の相談相手があまりいない、詳しい人がいない
- e-taxが分かれば家で申告出来るのですが、よくわからないので税務署に行かなければならず時間を作るのが大変
- お願いするなら、痒い所に手が届くような税理士さんを頼みたいが、お金も相当かかるのではないかと
思っで自分でやっている
- 特別複雑な業態では無いのであまり無いと思うが、保険診療は遅れて支給されたり、誤っていると訂正して、遅いと治療から1年以上経って支給されたりするので。年をまたいだりする点が申告しずらくしている

専門家（FP・士業・コンサル等）

- インボイス制度がはじまり、その辺の知識不足からくる、不安がある
- 領収書などの整理に一番時間がかかるのでいつも早めの準備と考えているが、実行されていない
- 1年で1番の繁忙期なので、体調管理にきをつける。職員の残業時間も確認する
- 事業所得の集計のために帳簿を自分でつけている。これが一番時間がかかる。税理士に任せればよい
のだろうが、妙に自分でできてしまうがゆえに結局自分でやってしまう

個人投資家

- 暗号資産は取引が複雑であり、税理士でも理解が怪しい人がいたりする
- 基本的に雑所得としての申告になるので最大で住民税と合わせて55%の税金がかかること
- 暗号資産業界自体まだまだ、発展途上の業界なため世界的にも税制、規制が追い付いておらず不透明な状況。とりわけ日本の税制では全て雑所得になるため経費等の計上もあまり出来ていない。暗号資産業界の発展促進のため、もっと新規業者が入りやすい税制になってほしい
- 暗合資産の取引データは、年末にまとめて取得するのではなく、数か月ごとにこまめに取得しておくことが大切だと思っている、全体的に言える事と思うが時期が近くなると税務署が混み合って相談出来ない。税理士も金額が高いためちょっとした事など聞けない

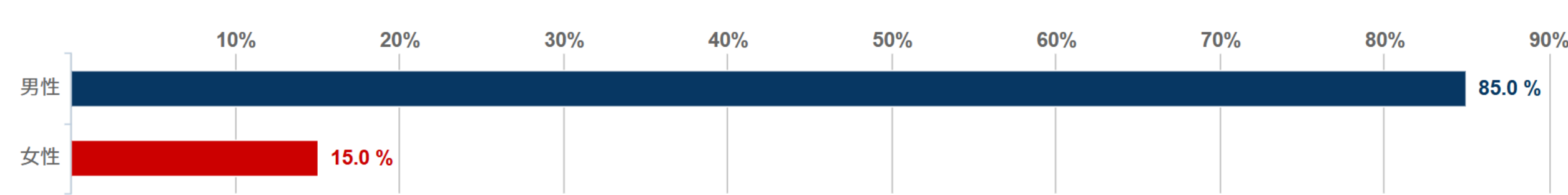
その他

- アスリート
 - ・これから収入が増えたとどこまで経費で削って良いのかわからなくなる
- アニメーション監督 演出
 - ・やることを知らない人間がまだいることで広く広めていきたいと考えている
- サービス業
 - ・基本的にパソコンが得意な人が多いので入力等は問題ないと思われるが、簿記知識の有無で難易度が変わる
 - ・通常業務以外に、それに充てる時間が多い。とても面倒な作業であること
- システムエンジニア
 - ・収入が定期的でイレギュラーな処理がほとんどなく、原価率も低いため、他の業界と比べると悩みが少ないと思う
- セラピスト
 - ・経費として認められるもの、認められないものなどが曖昧な場合がある
- 飲食業
 - ・確定申告の複雑性や経費の適正な計上が課題。節税手段の獲得と納税効率の向上が重要な悩み
 - ・どう楽にスムーズに終わらせるかを考えて、日頃から準備する事を意識する
 - ・経費をどこまで落とせるのか、節税対策の仕方がよくわかっていないのが悩み
- 映像企画制作
 - ・ソフトへの入力、仕分けに時間がかかる。さらに電子保存はさらにかかる
- 外部指導者
 - ・どこまで経費にしていいいのか、項目をわけるのが課題である事
- 教育業・教育サービス業
 - ・知識不足により適正な控除等ができていないかもしれない。気づかない。
 - ・個人で開業している場合は現金での収入が多いので、それを取りまとめるのに比較的手がかかる
- 情報通信業
 - ・e-Taxをもっと利用しやすく簡単にシンプルにできるはず。エラーを無くすのはマストとして、ユーザビリティの改善をして欲しい
- 電気工事業
 - ・売り上げのほとんどが人件費なので経費として認められる物が少ないので困っている
 - ・業界では決まった金額でやり取りしてるので悩むのは人件費くらいだと思う
- 部品組みつけ
 - ・法律。自営業の所得申告や経費のルールがまだわかりにくい
- 便利屋
 - ・職域が多岐に渡り、どの項目をどのように経費計上し、分けていくかを細かく細分化することが課題

- 不動産業・アパート経営
 - ・アパート経営する上での経費は限られるため、節税が難しいのが難点
 - ・経費を多めに申請したいけれどなかなか線引きがわからないしどうすればいいか悩む
 - ・電子化にともない、領収書、請求書の扱いがまだまだ均一化されていないこと
 - ・全て自分でやらなければならないこと 相談する人がいないと大変になる
 - ・自宅と事務所が同じなので経費としてどの様に請求すれば良いのか不明
 - ・通信費、光熱費、家賃の割合など
 - ・アパート経営の経費は決まっていて経費に認められるものが少ない事
 - ・領収書集めや、資料あつめにてまがかかること、計算アプリの使い方が分からないこと
 - ・現在は、担当税理士が行っているので大きな問題はなくなっているが書類の準備に時間がかかることがある
- 保険業
 - ・売上に対して経費区分が少ないことがあげられる様に思う。またインボイスの影響を受けてしまう
 - ・領収書が大量にあるのでまとめることが大変であり、青色申告が難しい
 - ・毎年税金対策をどうにかしたいなと考えていますが理解できなくて悩んでいる
 - ・特にないが、税金が高いと思う。住民税などが前年所得で支払いがくるので忘れそう
 - ・経費の計上が売上のどれくらいにするか毎年悩む
 - ・今年から適格請求書発行事業者となり、コミッションからの消費税額の計算方法を理解していない
- 翻訳
 - ・どこまでを経費にしてよいか分かりにくい。本業以外の副業をしている人も多い

本調査の回答者属性

▼ 性別



▼ 年齢

